

# トップが語る「大学」と高校生へのメッセージ

「英語の青山」などと呼ばれてきたように、いち早く今日のグローバル化時代に対応する人材を輩出してきた青山学院大学。グローバル化に加えて、学部教育における教養教育が見直される中、2003年からは独自の教養教育システム「青山スタンダード」を掲げ、その流れをリードしてきました。「大学とは、《学びの場》、《出会いの場》、《創造の場》である」との理念を掲げ、2012年度から始まる新しい青山をリードされている伊藤定良学長に、大学で学ぶべきこと、そのために高校時代から心がけておきたいことなどをお聞きしました。



## 青山学院大学 学長 伊藤 定良先生

1966年東京大学文学部西洋史学科卒業。72年同大学大学院人文科学研究科西洋史学専攻課程博士課程単位取得後、日本大学文理学部専任講師及び助教授を経て、78年より青山学院大学文学部助教授、87年教授。研究テーマはナショナリズムの史的展開。『ドイツの長い一九世紀』（青木書店）、『越境する文化と国民統合』（共著書）（東京大学出版会）など著書多数。東京都立三鷹高等学校出身。

### ドイツの長い一九世紀

ドイツ人・ポーランド人・ユダヤ人 (伊藤 定良著 青木書店)

本書はタイトルが示すとおり、19世紀ドイツの歴史とドイツに抑圧されたポーランド、ユダヤ人の歴史を描き出した歴史学の本です。私たち日本人にとっては、ドイツによるポーランド抑圧を身近なものとして捉えるのは難しいかもしれません。しかし、本書のスタート地点は、ドイツではなく私たちの住む日本です。日本の朝鮮に対する植民地支配は、ドイツがポーランドに対して行った同化政策を手本としていた——この驚きの事実から幕を開ける本書には、ドイツの歴史を眺めることで近代日本が抱える問題を見つめ直すという一つの明確な意図があります。

加えて、本書がもう一つ読者に問いかけるのは、ナショナリズムとは如何なるものかというシンプルにして奥深い問題です。「そもそもナショナリズムは、開放と抑圧の複合的性格をもっている」(p. 117)——このような当たり前の事実が、ドイツ史を眺めることで自然と実感される構成になっているのです。そもそも「国民」や「国家」というものが如何に浮上してくるのか、本書は国民を国民たらしめるものとしての「言語」、記念祭典によって作られる伝統などを十分なサンプルとともに追いつながら、抑圧する／される中で形成されていくナショナリズムの姿を、できる限りそのままの形で読者の目の前に提示します。過度に単純化せず、複雑なものは複雑なものとしてしっかりと向き合う姿勢は、読者に「自分の頭で捉え直す」ことを求め、心地良い疲労感を与えてくれます。

もちろん歴史の専門書ですから、ページを開くと固有名詞の多さに圧倒されるかもしれません。しかし、文章自体は専門用語も少なめで、分かりやすい言葉でまとめられているので、近代の世界史に興味がある人ならすぐに引き込まれていくにちがいないと思います。

歴史を学ぶ意味というものを、自らつかむことができるかもしれない、そんな一冊です。

# 新しい自分と 出会うために

**対話力を高めよう**  
最近、大学の4年間を通して身につけるべきものを、学士力、研究力、就業力、社会人基礎力など「力」をつけて呼ぶことが多いようですが、私もこの春には、卒業していく学生に「対話力」という言葉を贈りました。対話とは、議論するだけでなく互いに論点を明らかに



してそれを新しい次元へ引き上げながら、最終的にはお互いが共通認識を持つためには欠かせないもので、その力は、コミュニケーション能力の中核となるものです。

この言葉を贈った二番の理由は、これからの社会ではチーム力がこれまでも増して重要になってくると考えるからです。企業における商品開発や企画の立案はもとより、大学や研究機関での研究開発においても、専門分化の進む今日、これまで以上にチームワークは不可欠だと思っています。

そもそも人は、背負っている歴史や文化、育ってきた環境がそれぞれ異なり、異なる問題に対しても受け止め方や対応の仕方が違います。そこでチームで何かを成し遂げるには、対話によってお互いに意思疎通を図り、合意を形成していかなくてはなりません。各々の違いに気付いてお互いが認識を改め、大きく豊かな考え方を共有する必要があります。

対話の力を意識してほしいと考えたもう一つの理由は、学生の気風の変化です。私の所属する文学部ではゼミが必修ですが、そのゼミで、最近気になっているのは、報告者に対する質問が以前ほど他のメンバーに広がっていないことです。

私の思い描く本来のゼミ、あるいはこれまでにゼミでは毎回、報告者の発表に対して、先生も加わってゼミ生が質問を投げかけ、質疑応答を通じてその日のテーマを掘り下げていくわけですが、それが発表者と質問者の間だけで完結してしまっていることも多々あります。自分の抱いた疑問に対して答えが得られればそれでよしとするのでしょいか、他のメンバーの質問やそれに対する答えをきっかけに白熱した議論に発展することが少なくなった気がします。このままでは対話の力がなかなか育たないのではないかと心配です。

もう一つ、大学で心掛けてほしいのが、「問い」を大事にすることです。大学では高校と違って、何でも自分から進んで、何でも自分から進んで学んでいかなければなりませんから、「なぜ」と疑問を持つことがなければ、学びたいことがまぶすつかりません。しかし、重要なのは、問うことから、自分なりに答えを見つけていく過程が始まるということでは、最後には、テーマが人生や人間の生き方にまで及ぶことも少なからずあります。このような経験こそ、社会へ出てからも生きるものなのだと思います。

反対に、答えを探すことを安易に考えてはいけません。辞書を一通り引くだけで済ませたり、簡単にまとめたノウハウを見れば、気になる事象については、その原因

大学ジャーナル **FREE**  
9月号  
Daigaku Journal  
vol. 89

発行所：くらむぼん出版 〒531-0071 大阪市北区中津1-14-2  
TEL06(6372)5372 FAX06(6372)5374

E-mail [KYA01311@nifty.com](mailto:KYA01311@nifty.com)  
<http://www.djweb.jp/>

## Contents

- 02 進路のヒント  
国際、教養、外国語系特集 その2 + 観光・文化  
教養教育、国際教養について語る——知の鎖国を超えて②  
国際教養大学長 中嶋嶺雄先生vs 京都大学総長 松本紘先生  
キャンパスレポート(早稲田大学国際教養学部)

## 04 第5回 観光・大学フォーラム開催報告



JTBの求める人物像 (株)JTB西日本 桜井敏晴さん

中国語のススメ 立命館大学孔子学院 院長 寛文生先生ほか

## 06 観光の現場で本物のコミュニケーション力と感性を養う 京都文教大学の取組

## 07 目に見えない世界遺産として古典の魅力を発信する 京都産業大学の取組



## 08 合格者座談会 私たちこうして東大に合格しました！ほか



## 10 スズメ理系 教科書に載っていない物理の話③ どうして数学を学ぶの②

## 11 できる学科 法政大学理工学部創生科学科

## 12 効き目アリ! 宇宙天気予報 アロマコラム



読者アンケートプレゼント



アンケートにお答えいただいた希望者の中から、抽選で3名の方に伊藤定良先生のご著書『ドイツの長い一九世紀』をプレゼントします。上のバーコードを読み取り、お申し込みください(大学ジャーナルHPからもお申し込みいただけます)。



や、そこに至った必然性を常に問います。そしてその答えを見つげるために膨大な文献を読み漁ることもあります。そこから、これまで誰も気付かなかったような見解、オリジナルな解釈にたどりつくことができるのです。

歴史に関することでも、自分なりに調べていくことで、実にさまざまな意見や主張、考え方に会います。場合によっては自分のそれまでと反省を強いられるようなこともあるかもしれません。しかし、それらと付き合わせ総合していく中から、最後には自分なりの解答を見つげることができるのです。

そしてこのことはまた、今の高校生や大学生にとっても大切だと

私が考える、「自分のやりたいことを見つげる」というのも一つながつてくるものなのだと思います。

攻めるようになったので、高校時代に大学で学ぶことを決めることは、それほど難しくありません。むしろ、それほどたやすくはないと思います。ただ、高校時代から、早く将来自分のやりたいことを見つけようという姿勢や態度を持つておくことは、好きなこと、自分が社会へ出てやりたいこと、やりがいのある仕事や研究を見つけた学生は、見違えるように積極的になるなど、その変貌ぶりには何度も目を見張らされてきました。

反対に、多くの学生が苦勞しているのもまさにこの点です。大学では授業だけでなく、課外活動、先生や友達と人間関係を深めることも大事だといわれるのも、一つはこのためです。

私自身は、小さい頃から読書が好きで、中学、高校では歴史書に興味を持ち、大学では歴史を学ぶことを志しました。もともと最初は日本史をやりたいと思ったのですが、大学で講義を聞き、さまざまな本を読むうちに西洋史を専

攻めるようになったので、高校時代に大学で学ぶことを決めることは、それほど難しくありません。むしろ、それほどたやすくはないと思います。ただ、高校時代から、早く将来自分のやりたいことを見つけようという姿勢や態度を持つておくことは、好きなこと、自分が社会へ出てやりたいこと、やりがいのある仕事や研究を見つけた学生は、見違えるように積極的になるなど、その変貌ぶりには何度も目を見張らされてきました。

攻めるようになったので、高校時代に大学で学ぶことを決めることは、それほど難しくありません。むしろ、それほどたやすくはないと思います。ただ、高校時代から、早く将来自分のやりたいことを見つけようという姿勢や態度を持つておくことは、好きなこと、自分が社会へ出てやりたいこと、やりがいのある仕事や研究を見つけた学生は、見違えるように積極的になるなど、その変貌ぶりには何度も目を見張らされてきました。

攻めるようになったので、高校時代に大学で学ぶことを決めることは、それほど難しくありません。むしろ、それほどたやすくはないと思います。ただ、高校時代から、早く将来自分のやりたいことを見つけようという姿勢や態度を持つておくことは、好きなこと、自分が社会へ出てやりたいこと、やりがいのある仕事や研究を見つけた学生は、見違えるように積極的になるなど、その変貌ぶりには何度も目を見張らされてきました。

攻めるようになったので、高校時代に大学で学ぶことを決めることは、それほど難しくありません。むしろ、それほどたやすくはないと思います。ただ、高校時代から、早く将来自分のやりたいことを見つけようという姿勢や態度を持つておくことは、好きなこと、自分が社会へ出てやりたいこと、やりがいのある仕事や研究を見つけた学生は、見違えるように積極的になるなど、その変貌ぶりには何度も目を見張らされてきました。

攻めるようになったので、高校時代に大学で学ぶことを決めることは、それほど難しくありません。むしろ、それほどたやすくはないと思います。ただ、高校時代から、早く将来自分のやりたいことを見つけようという姿勢や態度を持つておくことは、好きなこと、自分が社会へ出てやりたいこと、やりがいのある仕事や研究を見つけた学生は、見違えるように積極的になるなど、その変貌ぶりには何度も目を見張らされてきました。

進路のヒント  
国際・教養・特集2  
+ 観光・文化

グローバル・コミュニケーション  
国際、教養、外国語を学ぶ

前号からの国際・教養・外国語系に、観光文化を加えた特集をお届けします。まず前号に引き続き、国際教養大学学長中嶋嶺雄先生と京都大学総長松本紘先生に、21世紀に求められる新たな教養と、日本の大学・大学院における教養教育の課題について語っていただきました。

知の鎖国を超えて その②  
教養教育、国際教養について語る

攻めるようになったので、高校時代に大学で学ぶことを決めることは、それほど難しくありません。むしろ、それほどたやすくはないと思います。ただ、高校時代から、早く将来自分のやりたいことを見つけようという姿勢や態度を持つておくことは、好きなこと、自分が社会へ出てやりたいこと、やりがいのある仕事や研究を見つけた学生は、見違えるように積極的になるなど、その変貌ぶりには何度も目を見張らされてきました。

攻めるようになったので、高校時代に大学で学ぶことを決めることは、それほど難しくありません。むしろ、それほどたやすくはないと思います。ただ、高校時代から、早く将来自分のやりたいことを見つけようという姿勢や態度を持つておくことは、好きなこと、自分が社会へ出てやりたいこと、やりがいのある仕事や研究を見つけた学生は、見違えるように積極的になるなど、その変貌ぶりには何度も目を見張らされてきました。

攻めるようになったので、高校時代に大学で学ぶことを決めることは、それほど難しくありません。むしろ、それほどたやすくはないと思います。ただ、高校時代から、早く将来自分のやりたいことを見つけようという姿勢や態度を持つておくことは、好きなこと、自分が社会へ出てやりたいこと、やりがいのある仕事や研究を見つけた学生は、見違えるように積極的になるなど、その変貌ぶりには何度も目を見張らされてきました。

攻めるようになったので、高校時代に大学で学ぶことを決めることは、それほど難しくありません。むしろ、それほどたやすくはないと思います。ただ、高校時代から、早く将来自分のやりたいことを見つけようという姿勢や態度を持つておくことは、好きなこと、自分が社会へ出てやりたいこと、やりがいのある仕事や研究を見つけた学生は、見違えるように積極的になるなど、その変貌ぶりには何度も目を見張らされてきました。

攻めるようになったので、高校時代に大学で学ぶことを決めることは、それほど難しくありません。むしろ、それほどたやすくはないと思います。ただ、高校時代から、早く将来自分のやりたいことを見つけようという姿勢や態度を持つておくことは、好きなこと、自分が社会へ出てやりたいこと、やりがいのある仕事や研究を見つけた学生は、見違えるように積極的になるなど、その変貌ぶりには何度も目を見張らされてきました。

攻めるようになったので、高校時代に大学で学ぶことを決めることは、それほど難しくありません。むしろ、それほどたやすくはないと思います。ただ、高校時代から、早く将来自分のやりたいことを見つけようという姿勢や態度を持つておくことは、好きなこと、自分が社会へ出てやりたいこと、やりがいのある仕事や研究を見つけた学生は、見違えるように積極的になるなど、その変貌ぶりには何度も目を見張らされてきました。

攻めるようになったので、高校時代に大学で学ぶことを決めることは、それほど難しくありません。むしろ、それほどたやすくはないと思います。ただ、高校時代から、早く将来自分のやりたいことを見つけようという姿勢や態度を持つておくことは、好きなこと、自分が社会へ出てやりたいこと、やりがいのある仕事や研究を見つけた学生は、見違えるように積極的になるなど、その変貌ぶりには何度も目を見張らされてきました。

攻めるようになったので、高校時代に大学で学ぶことを決めることは、それほど難しくありません。むしろ、それほどたやすくはないと思います。ただ、高校時代から、早く将来自分のやりたいことを見つけようという姿勢や態度を持つておくことは、好きなこと、自分が社会へ出てやりたいこと、やりがいのある仕事や研究を見つけた学生は、見違えるように積極的になるなど、その変貌ぶりには何度も目を見張らされてきました。

攻めるようになったので、高校時代に大学で学ぶことを決めることは、それほど難しくありません。むしろ、それほどたやすくはないと思います。ただ、高校時代から、早く将来自分のやりたいことを見つけようという姿勢や態度を持つておくことは、好きなこと、自分が社会へ出てやりたいこと、やりがいのある仕事や研究を見つけた学生は、見違えるように積極的になるなど、その変貌ぶりには何度も目を見張らされてきました。

基礎学力をつけるために

一つは、毎日、新聞を読む習慣をつけることです。しかも、一紙ではなく二〜三紙を読み比べるというと思います。新聞は情報の宝庫で知識も増えますし、読み比べることで同じニュースや事件を各紙が異なる観点で取り上げていることに気がつき、「なぜ」という疑問がたっさん生まれてくるからです。さらに一般的に言えば、やはり読書が大切です。本のよいところは、自分の好きな時に、自分のペースで読め、書き込みもできる点です。また、読んでいる間に、自然に感性が磨かれるなど、多くのことを身につけることができると思います。

2012年の改革

2012年春、本学では理工学部と社会情報学部は相模原キャンパスで、他の学部はすべて青山キャンパスで学ぶことになりました。これまでのように、1・2年を相模原で、3・4年を青山でというのではなく、それぞれのキャンパスが4年一貫教育の場となります。現在は、そのためのインフラ整備とカリキュラム改革など、教育研究の実を上げるための大改革が進められているところです。

これはかねてからの私の信念ですが、大学で実りある4年間を過ごすには、1年生から4年生まで、あるいは大学院生までが同じ一つのキャンパスで学び、お互いに刺激し合うことが欠かせません。まだ高校生の面影の残る1年生からは、3年生や4年生さらには研究者や専門職業人を目指す大学院生は、ぜひ大人に見えるでしょう。年齢に開きのある学生同士が一つのキャンパスに集うことで、クラブ活動や課外活動、授業に限らず、先輩が後輩を指導する場面も増えると思います。これは現場教育とも呼べる

攻めるようになったので、高校時代に大学で学ぶことを決めることは、それほど難しくありません。むしろ、それほどたやすくはないと思います。ただ、高校時代から、早く将来自分のやりたいことを見つけようという姿勢や態度を持つておくことは、好きなこと、自分が社会へ出てやりたいこと、やりがいのある仕事や研究を見つけた学生は、見違えるように積極的になるなど、その変貌ぶりには何度も目を見張らされてきました。

攻めるようになったので、高校時代に大学で学ぶことを決めることは、それほど難しくありません。むしろ、それほどたやすくはないと思います。ただ、高校時代から、早く将来自分のやりたいことを見つけようという姿勢や態度を持つておくことは、好きなこと、自分が社会へ出てやりたいこと、やりがいのある仕事や研究を見つけた学生は、見違えるように積極的になるなど、その変貌ぶりには何度も目を見張らされてきました。

攻めるようになったので、高校時代に大学で学ぶことを決めることは、それほど難しくありません。むしろ、それほどたやすくはないと思います。ただ、高校時代から、早く将来自分のやりたいことを見つけようという姿勢や態度を持つておくことは、好きなこと、自分が社会へ出てやりたいこと、やりがいのある仕事や研究を見つけた学生は、見違えるように積極的になるなど、その変貌ぶりには何度も目を見張らされてきました。

日本の大学、大学院の弱点

中嶋学長…日本では、1990年代の初頭に大学院重点化と大学設置基準の大綱化※1がほぼ同時に行われ、国立大学は大学院中心の形になり、大切な学部教育、教養教育が空洞化してしまいました。

松本総長…京都大学では1996年に教養部をなくしました。以後、教養教育については、旧教養部を母体にした総合人間学部と、数学のような特殊なものを理学部が、そのほかのものについては全学部で協力

OCWを進路選びに活用しよう! コンピュータが「ことば」を理解する 自動翻訳から次世代情報検索、情報分析へ

私たちは「ことば」を使うことで、コミュニケーションをとったり、思考をしたりしています。ところが、ことばを使う仕組みは、まだよくわかっていません。そんな「ことば」を0と1の組み合わせで成り立つコンピュータに理解させよう、と研究を進めているのが黒橋禎夫先生。自然言語※1をいかにコンピュータに理解させるのか、そしてコンピュータに言葉を理解させることで可能になる自動翻訳や次世代情報検索、情報分析について、お聞きしました。



京都大学 黒橋 禎夫先生

ウェブの出現と計算機環境の充実が自然言語処理を進展させた

16億文の日本語コーパス(検索が可能なテキスト・データ)、1億ページのウェブページから、コンピュータが言語の知識を自動獲得する仕組みを作っています。20年ほど前までは、人間が一つ一つの単語の意味や文法などをコンピュータに覚えさせていたのですが、それではあきまきま、新しく生まれた言葉や言葉の意味にも対応できません。そこで考え出したのが、計算機にたくさんの常識を与える方法です。「泳ぐ」という動詞であれば、「子どもが海で泳ぐ」「魚がスイスイ泳ぐ」「水着で泳ぐ」「クローラで泳ぐ」といった用例から「使い方」をどんどん学びます。

ウェブの世界から膨大な対訳データを獲得 自動翻訳はここまで進んでいる!

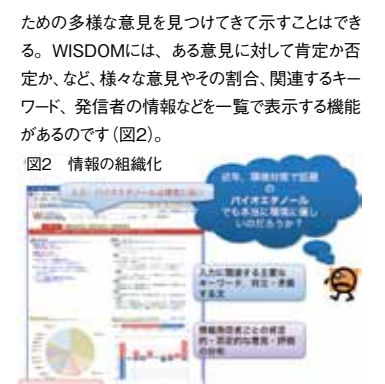
同様に、ウェブの出現によって翻訳知識の学習も進化しています。翻訳系の最大の問題は、ルールの積み重ねでやっている、新しいルールや新しい言葉が出てきた時などに、それを全体に対応づけてメンテナンスすることが難しい点です。そこで出てきたのが、対訳文を用いた翻訳システムです。このシステムは大きく分けて2つの処理から成り立ちます。まず100万程度の対訳文を計算機に入れておき、文章間の対応関係を見つけておく。その上で、新しい文が入ってきた場合には構造を解析し、対訳文の中から使える部分をつなぎ合わせて翻訳するのです。

次世代情報検索と情報分析

自然言語処理の上には2つのアプリケーション、検索と翻訳があります。検索系については、私たちのところではTSUBAKIという検索エンジンを運用しています。キーワードを入力して検索するのはどの検索エンジンでもできますが、「高齢化社会で成長がみこめる市場」といった文章の意味まで考えて検索しようと思うと、クエリ(検索窓に入力する質問文)の処理が難しい。TSUBAKIは、こうした意図に合致した検索結果を出力するエンジンです。

情報の組織化

組込みとしては、まず自然言語解析に基づいて構造を考へ、ユーザがクエリに入力した文章の構造的な関係と同じような構造関係を持つテキストをウェブ上で探します。それから、「市場」=「マーケット」といった同義語を含めて展開していきます。もう一つ、NICT(情報通信研究機構)ではWISDOMという検索エンジンを運用しています。ウェブにはウソや根拠がないもの、勘違いを含めて色々な情報がありますが、計算機にその信頼性を判断させるのは困難です。しかし、情報を分析する



※1 人間が日常の意思の疎通に用いる言語のこと。プログラミング言語など人工的に定義された言語と対比してこのように呼ばれる。  
※2 用言とそれに関係する名詞を用言の用法ごとに整理したものを「格フレーム」と呼ばれる。16億文の日本語テキストから自動的に構築された「格フレーム」とその原文は、「格フレーム検索」(http://read.kuee.kyoto-u.ac.jp/cf-search/) で検索することができます。

黒橋先生のご研究は京都大学オープンコースウェアでさらに詳しく知ることができます。工学部 計算機ソフトウェア(http://bit.ly/a8kxpP)、京都大学総合博物館2006年春季企画展「コンピュータに感覚を」(https://ocw.kyoto-u.ac.jp/news/kyoto-u-museum2006/open-lecture1/?searchterm=%E9%BB%92%E6%A9%8B)、全学共通科目「情報探索入門」リレー講義(http://bit.ly/cYtUj6)など。



キャンパスレポート

国際教養学部で学ぶということ



早稲田大学 国際教養学部3年生 三方 さらさん

早稲田大学国際教養学部へ入学して

早稲田大学国際教養学部(以下、SILS)では、その理念であるリベラルアーツを元に、さまざまなテーマ・分野を扱っています。入学して最初の1年のカリキュラムでは、少人数でのコミュニケーションを目的とした初級演習や環境・思想・経済等7つのグループから異なる3つのテーマを選ぶイントロダクションコース、英文エッセイの書き方を一から教わるアカデミックライティング(レベラ分けテストによってクラスが分かれる)、第二外国語等が必修となります。

分野を問わない学習を積み重ねること、広く知識力を養いながら留学先から帰国後の3年次までに専攻を決めています。

SILSの先生方は、それぞれの専門に基づいた授業を行っています。そのため、内容は先生によってさまざま。教科書をひたすら音読する授業もあれば、啞然とする程コアなディスカッションやプレゼンテーションを行う授業もあります。予備知識がなければこなせないような内容のイントロコースがあったり、一般常識を延々と続ける上級演習があったり、あたりはずれが大きいのが一つのデメリットかもしれません。特に「純ジャパ」と呼ばれるSP1(国内受験生)の友人の中には海外経験がなく、日本の教育だけを受けてきている人もいるので、入学後に、約8割を超える英語での授業やライティング講座を帰国子女の学生と一緒に詰め込まれると大変です。帰国生の英語力に追いつくことに必死で勉強内容がなかなか身につかない……と中間・期末試験前に連続徹夜をして課題をこなす友人もいます。

留学の準備期間

SILSに興味を持っているみなさんの多くが、留学に関心があると思います。SILSでは留学が必須条件ですが、このスケジュールがまた少しハード。入学した直後の4月から春の留学フェアに参加(自分で調べる場合は不要)、カウンセラーやコーディネータと話し合いながらどんな国で何を学びたいか、どう暮らしたいのかといった内容から、選択肢を狭めていきます。同時期にTOEFLを必ず受験し(非英語圏希望者も)、必要点数に達するよう別途勉強に励むことも大切です(最低点数を設定しない大学もある)。

後は11月頃の選考期間まではひと段落、とはいかなくて、選考時に最重要視されるGPA(成績評価)の維持や英語圏以外の国の場合、語学力を強化する必要があります。ほとんどが必修科目で埋まってしまう上に成績を落とせないため、気が抜けない時期が続きます。派遣先が決まる頃にはぐっだりしている友人もいました。選考が終わって年明け、2月頃から順次決定の連絡が来て、ビザの申請や住まいの手配等を済ませ、夏に出発が基本スケジュールです。私は事情があって留学が免除されたため、友人に話を聞いてみました。

留学時に大切にしたいこと

英語圏に留学した友人は、思っていた以上に寮から大学までの距離が遠く、友達作りが思うようにできなかったそうです。場所を変えたくても英語が通じなかったらと不安で、最初の半年間は我慢して通い続けていたものの、いつの間にか英語を使って日常生活を送れていることに気づき、自分で現地校に掛け合っ、近場でルームシェアを実現、充実した留学を終えて帰国の途についたようです。

英語圏だけでなく、非英語圏プログラムに参加する学生にも一貫して言えることは、SILSの留学システムで「何を勉強するか」よりも「自分をどう成長させるのか」が重要だということです。自分で考え、自分で決定する。そういった自己決断力の基礎を身につけ、卒業後のキャリアを考え始める時期に帰国を迎えます。

SILSで拓く未来

私は元々、大学院で犯罪心理学を研究したいと考えていますが、就職を希望する学生向けには、キャリア相談会が学部や大学内にて随時開催されています。

SILSの学生の中には英語力や学部の特色を生かして外務省や国連の職員を目指す人も少なくありません。それぞれの夢を実現しようと、3、4年次のゼミや卒業論文に取り組みながら、説明会やセミナーで情報収集を行っています。

いろいろと大変なことが多い大学生活ですが、友人みんなに共通するのは、それを乗り越えるためには、友達との存在が一番大きいと考えている点。SILSのカリキュラムは幅広く大変、先生は専門的すぎてついていけないこともある。留学してホームシックにもなりかけた。でも、わからない、できないところを補い合っ一緒に壁を越える友達がいるからがんばれる、これがSILSの学生の多くの意見です。少人数制の下、多様なテーマのクラスに参加することで、国内だけでなく外国の仲間もできますし、そこから価値観・文化の違いを学び、また交流を深められるのがとても貴重な体験です。

国際教養学部では、学生一人ひとりのニーズに合わせてカリキュラムを考えてくれることはあません。この学部でリベラルアーツを学ぶには、その良い点を自ら試行錯誤しながら探し、掘り当てていくこと。必要な情報か不必要な情報かを見極め判断力が問われます。いわばDIY、実践型の人間を育てていくことが、この学部の真の目的のように思えます。数ある選択肢の中から何を、どこに注力していくべきなのか。それをある程度明確にすることができ、上手に計画が立てられれば次に繋がる。そんな環境を提供してくれる学部なのだと思います。

何をやればよいかわからないけれど、どのような人間になりたいかは説明できる。逆に、人間としてどう成長したいかはまだわからないが、こういった分野を学びたい等、何か一つを志す人は容易に自分の道を切り拓くことができるはずだ。

を目指したい。私は全人教育と言っています。が、要は人格的にも世界のリーダーになれるような人材を、一人でも多く輩出したいのです。

1、2回生に専門教育を下ろした結果、幅広い勉強が足りず、馬車馬のように前しか見ない人がいます。それは困りますので、せめて1年、できれば2年、あらゆる分野の学問を二通り学べるような体制に組み換えたいと思っています。大学院でもマスターを取って特定の研究室に入ると、その分野で完結するような非常に狭い研究を日々行うことが多く、その環境でドクターコースを出た人は会社で役に立ちません。だから企業が採用せず、ポストドクやオーバードクターが増えるという悪循環に陥っています。そうならないためには、大学院でも1、2回は勉強した教養とは違う高度な教養を教えないといけません。つまり、リーダーとしての教養です。理学の人でも工学の人でも、政治経済や哲学をきちんと勉強してもらおう。西洋でいうカレッジ型の大学院大学、新しい大学院の研究科、大学院コースを作ろうと京都大学では今、検討しています。

最終報告にも入れたわけです。しかしなかなか実現しない。松本総長…既存の大学院を一挙にそうしようと思つたら、多分、10年かけても難しいかもしれません。大学院でいうと学位の問題もあります。例えば理学博士とか工学博士をPh.D.と多くの日本人が英訳しています。これは元来間違っています。これは元来間違っています。大学院でいうと学位の問題もあります。例えば理学博士とか工学博士をPh.D.と多くの日本人が英訳しています。これは元来間違っています。これは元来間違っています。

で、今行われている教育ではドクター・オプショナルが正確なところでは、これを本場にPh.D.と胸を張って名刺に書けるような、哲学博士号を発行できるような大学院にしたいわけです。そのためには、高度の教養が半分、今までのような研究は半分ということを明確に定義したい。まだ私のアイデアの段階ですが、近く実現

したいと思っています。中嶋学長…日本の大学、大学院は大抵、17歳から18歳の時から何々学部何々学科というように非常に狭いところに入られてそのまま大学院まで行く。ここが問題で、アメリカでは、ハーバードにしてもUCバークレーにしても、博士課程には他から入ってくる。とくに、リベラルアーツの大学でちゃんと教養を学んだ人が、日本もそういうシステムに変えていかないと、今、先生がおっしゃったような全人教育はなかなかできない。高度な専門知識は持っているが、人間として欠けているのは、国際

社会で力を発揮できなせん。松本総長…もう一つ加えると、今のシステムだと専門に入つて最後は非常に細分化された場所へ到達します。すると、そこからなかなか脱却できない。先達の後継者という、卵を生むシステムの中に埋め込まれることになる。恩師や、そのまた恩師の研究をそのまま延々と続けることになりやすい。よほど特殊な能力がない限り違うことができない。しかしもし、学部と大学院で教養を2年度レベル、10年間くらい毎に研究テーマを変えられれば、能力が身につくはずで、今ではハーバードやスタンフォードにしても、10年くらいでテーマを変え、新しいことに踏み出せないければ、予算も人もつかないようになりつつある。ですから、それ

ができる能力を若いときにつけてあげることが国際社会で通用する教育ではないでしょうか。中嶋学長…それから、日本の大学院はどうしてもリサーチが中心で、コースワークが非常に弱い。私は文系で専門は国際社会学ですが、カリフォルニア大学のサンディエゴで1年間、大学院生を教えた経験からいうと、やはり日本の大学に比べてコースワークがすごい。日本の、少なくとも文系はちょっとゼミで発表して、リサーチペーパーを書いてそれで修士をもらえるわけです。それではこれからの時代、いかにも貧弱だと思えます。

※1 2007年6月教育再生会議第二次報告「世界トップレベルの教育水準を目指す上大学院教育の改革」

※2 2005年9月中央教育審議会答申「新時代の大学院教育の構築に向けて」

※3 科目履修を中心とした学習形態



京都大学総長 松本 紘 先生

Profile

1942年生まれ。奈良県出身。65年京都大学工学部電子工学科卒業。67年同大学院工学研究科(電子工学専攻)修士課程修了。専門分野は宇宙プラズマ物理学、宇宙電波工学、宇宙エネルギー伝送など。2008年10月より現職。奈良女子大学文学部附属高等学校出身。



国際教養学部長 中嶋 嶺雄 先生

Profile

1936年長野県松本市生まれ。東京大学大学院社会学研究科修了。社会学博士。国際社会学者。国際教養大学理事長・学長、社団法人才能教育研究会会長。東京外国語大学学長、国立大学協会副会長、アジア太平洋大学交流機構(UMAP)国際事務総長、財団法人大学セミナーハウス理事長、文部科学省中央教育審議会委員(大学院部会長・外国語専門部会主査)、内閣教育再生会議有識者委員、オーストラリア国立大学、パリ政治学院、カリフォルニア大学サンディエゴ校大学院の客員教授などを歴任。長野県立松本深志高校出身。

OPEN CAMPUS 2010

9/20 月祝 10:00~15:00

- 学科紹介 ● 模擬授業 ● 入試相談 ● 各種相談コーナー ● キャンパスツアーなど

事前申し込み不要 入退場自由



入試直前相談会 10:00~15:00

事前申し込み不要 入退場自由

推薦入試直前相談会…10/10 日 一般入試直前相談会…12/19 日

公募制推薦入試、論文入試、一般入試の直前対策講座を実施。予備校講師が直前対策法を徹底解説します。



お て もん 追手門学院大学

- 学部 ● 経済学部(経済学科/ヒューマンエコノミー学科) ● 経営学部(経営学科/マーケティング学科) ● 心理学部(心理学科) ● 社会学部(社会学科) ● 国際教養学部(アジア学科/英語コミュニケーション学科)
- 大学院 ● 経済学研究科(経済学専攻) ● 経営学研究科(経営学専攻) ● 心理学研究科(心理学専攻) ● 文学研究科(社会学専攻/中国文化専攻/英文学専攻)

入試広報課 TEL:072-641-9165 FAX:072-641-9169 〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 ホームページ http://www.otemon.ac.jp/



進路のヒント
国際・教養・外国語系特集2
+ 観光・文化

観光・大学フォーラム 第5回 が開催

去る7月14日、第5回観光・大学フォーラムが開催されました(観光・大学フォーラム実行委員会主催。事務局：くらむぼん出版)。

開催報告

参加大学からのプレゼンテーションでは、観光が学べる各大学のさまざまな取組が紹介されました。

関西で最初に観光系学科を開設し、今年から国際観光学部を新設した阪南大学での注目は、世界中のバックパッカーを誘致せよ、をスローガンに、大阪新今宮界隈で地域と連携して外国人旅行者を積極的に受け入れる体制を整えた「大阪国際ゲストハウス地域創出プロジェクト」。



高等学校や学習塾の先生、保護者以外に、加えて高校生も何人か参加していただき、講演後のブース展開では各大学の担当者に積極的に質問していました。

JTBの求める人物像



株式会社JTB西日本 総務部総務チーム 桜井 敏晴さん Profile 2001年京都大学経済学部経済学科卒業後、株式会社ジェイティービー入社。2008年6月より現職。大阪府立天王寺高等学校出身。

観光業に必要な資質は時代とともに変化しますが、普遍的に必要とされるのは「ホスピタリティ溢れるサービス精神」です。言い換えれば、人の喜びを自分の喜びと感じ取れること。この資質は観光・ツーリズム産業に特有なものかもしれませんが、それがあればお客様の感動をフロンティアで生み出すことができます。

観光業は「コミュニケーション」も大切です。これはどの業界においても必要とされる資質ですが、特に目に見えないサービスを提供する観光業においては、お客様のニーズを的確に把握し、潜在的なウオツを引き出すという意味からとても重要です。

Q&A

Q1...採用に当たって大学名ほどの程度考慮されますか。 A1...JTBグループの中には、大学名のみで書類選考をしている会社はありませんが、今後は各社ごとに採用活動を行っていく、それぞれで担当者が人念にエントリーシートを見ています。

Q2...分社後のJTBグループのエントリー方法の特徴と、採用状況で変わった点を教えてください。 A2...JTBグループは「グループ求人」という形の採用方式を取っており、最初のプレエントリーはグループ合同で受け付けています。

私立大学の取組
OTEMON TO THE WORLD
国際理解と国際交流の推進・強化を図る追手門学院大学の「国際交流推進年」
上海万博にも参加
来年、開学45周年を迎える追手門学院大学。今年、インド・グジャラート大学と学生交換制度を始めて40年、オーストラリア・グリフィス大学とは30年の節目の年とあって、2009年から2011年の3年間を「国際交流推進年」として、国際理解と国際交流をこれまで以上に推進・強化するためのさまざまな取組を行っている。

iu 大阪国際大学
大阪国際大学短期大学部
守口キャンパス
【大学】
国際コミュニケーション学部
国際コミュニケーション学科
観光・流通ビジネスコース
【短期大学部】
ライフデザイン総合学科
観光・英語コース(女子のみ)

和歌山大学観光学部
新しい「観光学」の創造へ!
国立大初
観光学は21世紀のリーディング産業です。時代のニーズに応じて、和歌山大学観光学部は新しい「観光学」の創造をめざして、観光振興と地域再生をリーダーとして担う人材を育成します。



# 中国語の時代がやってくる

## 中国語のススメ

中国語を世界に普及し、中国文化を海外へ紹介するために、あらゆる国々に設立されたつある孔子学院。わが国でその最初の拠点となったのが立命館孔子学院(NPO法人理事長川口清史、学校法人立命館総長、立命館大学学長。中国語の将来性と、日本人が中国語を学ぶに当たって注意すべき点などを、院長の寛先生にお聞きしました。



立命館大学孔子学院 院長 寛 先生

**Profile**  
1934年生まれ。57年京都大学文学部中国語専攻卒業。62年同大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学後、同大学人文科学研究所助手を経て、64年11月～67年1月上海外国語学院日本語科外籍教師。京都大学人文科学研究所助手を経て、72年4月より立命館大学文学部助教授、77年より同大学名譽教授、2010年4月立命館孔子学院教授に就任。「唐宋文学論考」(2002年 創文社)、「唐宋詩文の芸術世界」共著(2007年 中華書局)など著書多数。滋賀県立虎姫高校出身。

いま英語は、世界の公用語と呼ばれ、良し悪しは別にして、英語でなければ世界の人々がお互いにコミュニケーションを取れない状況になっています。

一方で、2008年の北京オリンピックから2010年の上海万博へ、急速な経済発展を遂げつつある中国の存在感は、高まる一方でです。沿岸部と内陸部の所得格差をどう解決するか、漢族と少数民族の融和をどう図っていくかなど、難しい問題をいろいろ抱えているとはいえ、中国がアメリカやロシアに勝るとも劣らぬ重要な地位を、国際社会で占めることに

ようになります。その理由としては、分社化する前はJTBで採用してきたので、どの地域に配属になるのかや、どの職種を担当するかは入社後までわかりませんでした。希望職種でも多いのは、「商品企画」ですが、実際に入社後すぐにその職種に就けるケースはほとんどありません。JTBでは商品企画をするのに必要な能力は、お客様目線でも自社商品の特徴を理解し、より高い満足度を提供できるように改善し続ける力が必要であると考えているからです。そのためにはお客様と直接接する渉外営業や店頭での営業経験が必要

不可欠なのです。しかし現在は、地域・マーケット別に会社に分かれていて、説明会で職種もはっきり説明していきまから、自分のしたい仕事に就きやすくなっています。もちろん添乗員に、宴会場のお客様のリップバを並べたり、海外でのんびりした風土の国のレストランではスタッフと一緒になって飲み物を提供するの必要はない仕事とあります。それ以外の仕事も違いますが、それこそがキャリアアップのチャンスです。それを活かせる人、本音でお客様と向き合える人、でもらえるわけです。人の見て

見たとくも、国の人、とくに画数の多い漢字を見ると、それだけで拒絶反応を起してしまう欧米の人たちには、比べればはるかにとつきやすく、学ぶのにも有利であることは確かです。簡体字と繁体字の違いはあっても、乗り越えられない壁ではありません。

しかし、このことが常に有利に働くとは限りません。ただ、大に必要があります。なんだ、大に必要と、いくつもの陥穽が待ちかまわっています。

たとえば、同じ漢字でも日本と中国では意味が異なることが多々あります。たとえば、「手紙」は「レター」ではなく、「メール」は「老妻」は「奥さん」で、「娘」は「お母さん」を意味していることなど、どこかで聞かれたことがあるかも知れません。しかし、こういう例は度聞いたら、すぐに覚えること

合いついての漢字に引きずられて、漢語の最大の特徴は、何となくその独特のリズムにあります。そのため中国語学習では、音声面からのアプローチがとても重要になります。

とりわけ漢詩は、訓読だけでなく、音読、それも朗唱してこそ中国語独特の「音韻」や押韻の効果が理解できるのです。中国の大学には、たいいて朗唱クラブがあって、彼らの朗唱を聞いてみると、漢詩は読むものではなく、耳で聴いて味わうものだということが実感させられます。

かつて韓国とベトナムの留学生が、杜甫の詩をそれぞれの国の言葉で朗唱するのをテレビで聴いたことがありましたが、韓国語にもベトナム語にも杜甫が生きた時代の音が現在も生き残っています。と感動したのを覚えています。

韓国もベトナムも、現在は漢字を使っていますが、両国の言語には、今も唐代の漢字音が脈々と受け継がれていることを実感させられるからです。

日本では訓読という漢文直訳法が普及したために、漢文や漢詩のもつ音的な美しさはあまり注目されてきませんでしたが、江戸時代の漢学者の中には、获生

嫌いな変な話をしてきたことがあります。

2000年以上の交流を思う私には文化大革命が起る直前に、上海外国語学院で2年間、中国の学生に日本語を教えたことがありました。彼らにとって難しいのは、日本語の動詞の活用や助詞、そして敬語であるところですが、前もってわかっていたはずなのに、同じ漢字を日本語では異なる漢音の二通りに読み分けることの難しさまで気づいていませんでした。たとえば西という漢字、関西はカンサイ、西洋はセイヨウと読み分けるのはなぜか、そこにはどういう原則があるのかと私に問いたたすので、「原則はない」という答えに彼らはとまどうばかりでした。

この問題に答えるには、漢字の日本伝来の歴史から説き起こさなければなりません。時代とともに本家中国の漢字音も変化してはいますが、関係してはいます。ですからこの問題を考えるためには、日本と中国との2000年以上にわたる長い交流の歴史を学ぶ必要があるのです。

奥が深ければ深いほど、研究分野は広がり、学業も進んでいきます。中国に関心のある方は是非中国語を学んで、日本語との違いを学んでみてください。

※簡体字は、字体を簡略化した漢字で、中華人民共和国の文字改革によって制定された。繁体字はそれまでの漢字を区別して言う場合に用いられる。

**中国政府公認**

# HSK

漢語水平考試

詳しくは、Webで検索！

HSK

実施/HSK日本実施委員会・社団法人日本青少年育成協会  
TEL/03-3268-6601 E-mail/hsk@jyda.jp

主催/中国国家HSK委員会  
後援/中華人民共和国教育国際交流会  
中華人民共和国駐日本大使館教育処  
中華人民共和国駐大阪総領事館  
一般財団法人基礎力財団

**世界から注目される中国**

2010年、中国は経済の分野で日本を追い越し、アメリカに次いで第2位のGDP(国内総生産)を実現するとみられています。中国のGDP成長率は、1979年から2008年までの30年間で、年平均9.8%に達しました。中国が世界的金融危機を乗り越え、高成長の持続に成功したことにより、そのグローバル経済大国としての地位は不動のものとなり、世界からの注目を受けているのです。

**唯一の世界標準中国語テスト「HSK」**

HSKは、中国政府教育部(日本の文部科学省に相当)が認定する中国語の語学検定試験で、世界全域(50カ国)で実施されています。このため、HSK証書は、中国において、中国語能力の公的な証明として通用し、中国留学や就職にも活用されています。

HSK 2010年試験日程			
受験日	10月17日(日)	11月14日(日)	12月5日(日)
実施試験	筆記	筆記・口試	筆記
受験地	東京・名古屋・大阪・京都・金沢・札幌・岡山・広島・大分・福岡・沖縄	東京・大阪	東京・名古屋・大阪・京都・金沢・札幌・岡山・広島・大分・福岡・沖縄
申込受付期間	平成22年7月1日(木)～平成22年9月17日(金)	平成22年8月1日(日)～平成22年10月14日(木)	平成22年9月1日(水)～平成22年11月5日(金)

Q5: 旅行業界は、体力的にも、精神的にも結構厳しい勤務を強いられる業界と聞きますが、桜井さんは人間的にゆとりのある生活をされていますか。それと離職率ほどの程度でしょうか。

A5: よく「激務」という言葉が旅行業界に対して使われますよね。確かにスキーシーズンや、修学旅行シーズンには添乗の多い時期もあります。またイベントを担当すると、昼夜を問わず、などということもあります。しかしJTBは、労務管理をとても大事にしている会社です。お客

様により良いサービスを提供するには、それを提供する自分たちも適正な休みを取って心身ともに健康でないといけません。また、お客様に最新の情報をお伝えするには、自分も旅行をし、観光に出かける必要があります。そのような観点でJTBは休日・休暇制度を整えており、実際に有給休暇の取得率も高い。だからその分働いている日は忙しいのかもしれませんが、私自身は、いつも海外営業をはじめ旅行に関する業務に戻り、海外へ行くことにしています。

離職率はグループになって減っていると思います。その理由としては、分社化する前はJTBで採用してきたので、どの地域に配属になるのかや、どの職種を担当するかは入社後までわかりませんでした。希望職種でも多いのは、「商品企画」ですが、実際に入社後すぐにその職種に就けるケースはほとんどありません。JTBでは商品企画をするのに必要な能力は、お客様目線でも自社商品の特徴を理解し、より高い満足度を提供できるように改善し続ける力が必要であると考えているからです。そのためにはお客様と直接接する渉外営業や店頭での営業経験が必要

不可欠なのです。しかし現在は、地域・マーケット別に会社に分かれていて、説明会で職種もはっきり説明していきまから、自分のしたい仕事に就きやすくなっています。もちろん添乗員に、宴会場のお客様のリップバを並べたり、海外でのんびりした風土の国のレストランではスタッフと一緒になって飲み物を提供するの必要はない仕事とあります。それ以外の仕事も違いますが、それこそがキャリアアップのチャンスです。それを活かせる人、本音でお客様と向き合える人、でもらえるわけです。人の見て

Q6: 求められる語学力に関して、英語は当然として、中国語もできた方がいいですか。

A6: 7月から中国人観光客のビザの要件緩和(所得制限を10分の1に)で、これまで以上に中国からの旅行客は増えていくでしょうから、当然できた方がいいと思います。

漢詩と朗唱

中国語の最大の特徴は、何となくその独特のリズムにあります。そのため中国語学習では、音声面からのアプローチがとても重要になります。

とりわけ漢詩は、訓読だけでなく、音読、それも朗唱してこそ中国語独特の「音韻」や押韻の効果が理解できるのです。中国の大学には、たいいて朗唱クラブがあって、彼らの朗唱を聞いてみると、漢詩は読むものではなく、耳で聴いて味わうものだということが実感させられます。

かつて韓国とベトナムの留学生が、杜甫の詩をそれぞれの国の言葉で朗唱するのをテレビで聴いたことがありましたが、韓国語にもベトナム語にも杜甫が生きた時代の音が現在も生き残っています。と感動したのを覚えています。

嫌いな変な話をしてきたことがあります。

2000年以上の交流を思う私には文化大革命が起る直前に、上海外国語学院で2年間、中国の学生に日本語を教えたことがありました。彼らにとって難しいのは、日本語の動詞の活用や助詞、そして敬語であるところですが、前もってわかっていたはずなのに、同じ漢字を日本語では異なる漢音の二通りに読み分けることの難しさまで気づいていませんでした。たとえば西という漢字、関西はカンサイ、西洋はセイヨウと読み分けるのはなぜか、そこにはどういう原則があるのかと私に問いたたすので、「原則はない」という答えに彼らはとまどうばかりでした。



# 京都文教大学の取組

修学旅行で宇治市を訪れる高校生を大学生が中心となつてサポートする「修学旅行プロジェクト」  
 ※1を、2006年から行っている京都文教大学。源氏物語や鶴岡、お茶などのテーマに、フィールドワークの手法を取り入れた10のプログラムを用意して、宇治の各地へ高校生を案内しています。  
 「観光」という切り口から学べることを、また「観光」の可能性について、修学旅行プロジェクトリーダーの人間学部文化人類学科の森正美先生を観光庁スポーツ観光推進室長坪田知広さんが訪れ、観光教育、地域振興などについて語り合っていました。

## 学んで、伝えて、創造する

**森先生**／「修学旅行プロジェクト」は、宇治市に来てくれる高校生向けの体験型教育プログラムとして、大学が宇治市観光協会や商店街など地域と協力して開発したものです。サポートするのは主に大学生スタッフ。テーマ毎のチームに分かれて、商店街でフィールドワークをしたり、宇治の地域文化である宇治茶の世界に触れたり、和菓子職人や鶴岡へのインタビューなどに挑戦します。

体験プログラムだけでは終わらないように、地域開発の問題を景観問題から考えるなど、高校生が自ら考えるきっかけを提供しています。

プログラムの最後にはまとめ学習を行い、自分たちの気づき・発見を他チームの人達に発表し、大学教員の講評を受けます※2。

**坪田さん**／地域連携と

# 観光の現場で本物のコミュニケーション力と感性を養う



観光庁 スポーツ観光推進室長  
 ニューツーリズム推進官  
 (兼 観光地域振興部観光地域振興課地域競争力強化支援室長)

## 坪田 知広さん

**Profile**  
 1969年福井県生まれ。1992年文部省入省。高等教育局私学行政課を振り出しに、係長・課長補佐として放送大学、社会教育、国際交流、スポーツなど多様な部署を経験。愛知県警察本部少年課長、文化庁芸術文化課課長補佐、文部科学省生涯学習政策局政策課課長補佐、三重県教育委員会総括室長(教育次長(学校教育担当))、文部科学省科学技術・学術政策局企画官を経て、2009年国土交通省観光庁観光地域振興課地域競争力強化支援室長。2010年1月より現職。



京都文教大学  
 人間学部文化人類学科  
 准教授  
**森 正美先生**

**Profile**  
 1966年三重県生まれ。三重大学人文学部文化学卒業。国立フィリピン大学アジアセンター修士課程留学を経て、1997年筑波大学大学院歴史・人類学研究科(博士課程)文化人類学専攻単位取得満期退学。専門は文化人類学と東南アジア地域(フィリピン)研究。法と政治の人類学を研究テーマに、現地での調査研究などを行う。また宇治市を中心とした地域活動にも参加している。

員免許状更新講習も行った、大変ご好評をいただきました。

**ニューツーリズム、スポーツ観光とは**

**森先生**／坪田さんはスポーツ観光推進室長でニューツーリズム推進官というのですが、具体的にどのようなお仕事事をされているのですか？

**坪田さん**／ニューツーリズムには文化、ヘルス、グリーンツーリズムなど色々あって、スポーツもその一つです。元々スポーツには観戦ツアーやスキーなど、旅行の側面もありますが、目的がはっきりしている分、

そ野が広がりにくい。そこで、試合観戦に行つて球場周辺で安くお安い食事をするとか、文化や歴史ツアーをするといったように、スポーツを起爆剤にして人の交流を増やせないか、各方面へ働きかけています。

**森先生**／地域密着型のスポーツは大きな地域貢献をしています。坪田さん、スポーツには人を動かすすごい力

がありますからね。ただそれだけでは足りなくて、やはりスポーツをしたり見たりするきっかけと場とパートナーをマッチングするための環境整備は行政が行う必要があります。たとえば、どんなスポーツでも観戦できるマルチスポーツパスのようなものとか、仲間とフットサルをしようと思つた時に簡単に近所で場所が検索できるような仕組みです。今は仕掛けづくりをしている真最中です。

**森先生**／観戦するだけでなく、地元の人や選手と交流できるとさらに楽しそうですね。スポーツ観光のターゲットは若者ですか？

**坪田さん**／若者の旅離れを防ごうというキャンペーンも別にありますが、スポーツ観光は幅広い世代がターゲットです。家族旅行の経験が少ないと大人になってから旅行をしないというデータもありますから、まずは子育て世代が旅しやすくしようというのがあります。シニア世代も狙い目です。草野球からゴルフまで、仕掛けを色々作る。最終的には若者に「面白そうだな、おじさんに負けずに自分たちもやろう」と思ってもらえたらいいと思っています。

**森先生**／元々フィールドピ

金もうけが観光の目的と思つていない？ 本当は観光って、地域を元気にしたり、人を育てたり、人に感動を与えたりするわくわくするものなんだよ」と話しています。

**坪田さん**／まさに、感心ですね。人の喜びを自分の喜びにできるといふか、自分の生きがいをおくことができれば、人との交流にも積極的になると思います。

**森先生**／ただ、現場に行つて現場で考えるのは大事ですが、それだけで終わってほしくはありません。できれば世界の中で自分がどの位置に立っているかを意識して動ける人になってほしい。最近の学生は内向きになりがちですが、経済活性化のために外国人を日本にたくさん招いても、招く側に外向きのメンタリティーがなかったらもてなすことができません。リピーターになってもらえないと思います。

**坪田さん**／来てもらうだけでなくそれで終わりで、もてなす側にも交流を通じて自分が成長するというメリットがあるわけですから、それを理解した上で、真の交流マインドを育てないといけないと思います。

**森先生**／元々フィールドピ

にまずは学生たちを連れ出そうと思つたからです。人と出会つて、美味しいものや珍しいものを食べるという楽しい現場で、その奥にある現場の工夫や苦勞を学び、少ししんどいことを体験してもらおう。もてなしの心は、自分も楽しんでいる、面白がることでできる面があると思うので、その心を学生に身につけてほしいのです。

※1 これまで、宮城、北海道、埼玉、秋田、東京から8校、約1000人の中高生が参加している。主に高校生が中心だが、昨年から中高一貫校の秋田県立横田星稜学院中学校の3年生を特別に受け入れている。

※2 参加校には学生が作った基礎資料等(左写真)を使った事前学習を依頼している。今年は、先生とゼミ生とで秋田県まで行って、フィールドワークなどについてレクチャーする予定。事前学習、修学旅行、事後学習が理想の形。宇治で学んだことを踏まえて、地元の問題を察し、レポートをまとめた中学生もいる。



**わくわくする観光の現場を**

**森先生**／よく学生に「お

宇治川の鶴岡で活躍中の現役女性鶴岡・江崎洋子さん。学内スタッフとして働いている。「お昼休みに鶴岡に餌をやりに行くこともあります」。

この他にも、平等院の住職が京都文教短期大学へ教えにきていたり、逆に学生が講師になって、宇治橋通り商店街内のサテライトキャンパスでフラワーアレンジメントを教えたりと、大学全体で地域と深くつながっている。

です。色々な話の展開ができる人、こんな面白いことがあったかーと気が付かせてくれるような人がいると重宝されます。

**森先生**／最近では、わくわくしたり、面白がったり、驚いたりという、感性のスイッチがオフのままの若者が増えてきている気がします。しかし感性は社会のどの分野でも活躍するにしても必要ですから、本学ではやはり、面白いと思える感性を持つて、その面白さを自己満足に終わらせるのではなく、人に伝え社会に広げていける行動力のある学生を育てたいと思つています。そのため、あくまでも現場主義教育にこだわりの、座学だけでは学べないことを学んでほしいと考えています。

商店街フィールドワークなどを通じて、地域の方々の交流が盛んですから、コミュニケーション力については十分鍛えられていると思います。4年間で見違えるようになって卒業していく学生を見てみると、学生の可能性は無限大だと感じます。しかし最近では、自分の可能性

や能力を認めることが苦手な学生も多くて、本当にもつたいないと思つています。

**坪田さん**／日本自体も同じ状態ですね。いいものがあるのに、謙虚というか、遠慮深いというか。

**森先生**／これからの日本にとって、科学力や技術力、ものづくりの力ももちろん大切ですが、それを売る力がないと、素晴らしいモノでも錆びてしまう。海外にアピールしたり、別のものをつなげたりするためには、コミュニケーション力やもてなしの心をもつて必要なのではないかと思つています。

**坪田さん**／今の若い人も、変に構えてしまわずに、失敗しても失うものは少しぐらいの気構えで、もつと野心を燃やしてほしいですね。あまり根拠がなくても、やればできるぐらいの自信を持てばいい。

観光振興も、人づくりにかかっている面が大きいですから、今後皆さんの優秀な学生さんを世に送り出してください。



# 社会人基礎力育成グランプリ2010 準大賞を受賞!

京都産業大学の取組 文化学部・小林一彦ゼミ

大学生らが教育活動を通して課題に挑戦し、「社会人基礎力」の育成度合いを競う「社会人基礎力育成グランプリ」(経済産業省主催)で、見事、準大賞を受賞した京都産業大学文化学部の小林一彦ゼミ。観光用パンフレットを作成したゼミの活動成果が「社会でも通用する」と認められた結果だ。冊子作りを通して学んだことや苦労したことなどについて小林先生とゼミの4人の先輩にお聞きしました。



小林 一彦先生

私たちは一人では生きていけない。みんなで歯車を回して社会を作っているのだから、自信を持って大きな歯車になり、大きく社会を動かす人になってほしい。



加藤 奈津美さん

研究成果をマスコミ等に発信することで新たに学ぶこともありました。



渡邊 梢さん

せんとうんと一体になって参加した平城遷都1300年のイベントも、貴重な経験でした。



末次 俊明くん

大学生活で、高校時代には考えられないくらい力がつきました!



石田 智視さん

一番のピンチは締め切りが早まった時。たくさんの人に教を乞いながらも、みんなで時間をやりくりして完成させた冊子は、大学生活の宝物です。



完成した冊子は市役所やJR奈良線沿線の駅やホテルに5000部設置。あつという間に在庫がなくなり、急遽1万部増刷された。



先生:「成果を出せばマスコミデビューさせます」。もちろん今回のメンバーも全員が新聞、ラジオ、テレビなどでマスコミデビューをはたした。



山城地域へは合計30回ほど通った。夕日の写真を撮りに行って、日没に間に合わなかったことも。真夏に片道30分かけて登った仏徳山の道は苦しかった!



## 万葉集ゆかりの地を紹介する

日本古典文学を研究する小林ゼミに、平城遷都1300年に向け、万葉集ゆかりの地として「山城地域」をPRする冊子を作りたいとの依頼が舞い込んだ。まずメンバー6人が取りかかったのは、約4500首ある歌の中から、山城地域に関する歌を選ぶ作業。地元にあつたのは15の歌碑のみ。都があつた恭仁京時代を中心

に、文献や解説本でいく通りもの解釈をつきあわせて100首ほどを選んだ。Excelでのデータベース化には、「情報処理実習」の講義が役立った。  
※南は奈良県、東は滋賀県と三重県、西は大阪府と接する京都府の南部にあつた地域。

現場へ通いつめ、万葉びとの思いに寄り添った日々を糧にリーフレットが完成!  
当初はメンバー間で温度差があつたものの、京都府山城広

域振興局の人たちとフィールドワークを行い、冊子に使う写真を撮影するために何度も現場へ通ううちに、夕日がきれいな場所や力強い音をたてて流れる川、凝ったデザインのマンホールなど、やましろのアーティファクトがたぐさん見えてきた。

就職活動や資格試験など各人の予定が合わなくて、衝突したこともあつた。それでも「目の前のことでもきかないのに、これから先のことができるはずがない」と、それぞれが空いた時間に作業を進め、バトンをつないでいくようにして、冊子を完成させた。

## 本番に向けて、実力UPを図ろう!

### 公募推薦対策講座

開催時間 13:00~16:30  
事前申込不要・入退場自由

開催日	開催地	会場
10月9日(土)	津	ホテルグリーンパーク津
10月16日(土)	京都	京都産業大学(6号館)
10月17日(日)	大阪	梅田スカイビル(ステラホール)
10月3日(日)	神戸	三宮研修センター
10月10日(日)	和歌山	和歌山県民文化会館
10月9日(土)	奈良	奈良商工会議所
10月11日(祝)	岡山	岡山コンベンションセンター(ママカリアフォーラム)
10月2日(土)	高松	アルファあなぶきホール(香川県県民ホール)
10月10日(日)	徳島	あわざんホール

公募推薦入試の英語・国語・数学(京都会場のみ)対策講座を実施。

### 一般入試対策講座

開催時間 13:00~17:30  
事前申込不要・入退場自由

開催日	開催地	会場
12月12日(日)	草津	ホテルポストプラザ草津
12月18日(土)	京都	京都産業大学(6号館)
12月11日(土)	大阪北	阪急グランドビル
12月19日(日)	大阪南	難波御堂筋ホール
12月23日(祝)	神戸	三宮研修センター

一般入試の英語・国語・日本史・世界史対策講座を実施。

## オープンキャンパス

### 英語ステップアップ編

# 9/19(日)

10:00~16:30(9:30~受付)

- 公募推薦入試「模擬試験」(英語)
- 一般入試対策講座(英語)
- 高1・2年生対象英語講座
- 学部学科紹介
- 模擬授業・研究室公開など

事前申込不要・入退場自由

アンケート回答者に入試問題集・願書・オリジナルグッズをプレゼント!



## POWER UNIV. 京都産業大学

お問い合わせ先 〒603-8555 京都市北区上賀茂山本  
入学センター TEL.075-705-1437 FAX.075-705-1438

<http://www.kyoto-su.ac.jp/>

# 京都産大を 知ろう!



# 私たちが、 こうして東大に 合格しました!

今春、東京大学に合格した先輩6人におすすすめの勉強法や秋以降の過ごし方について話し合ってもらいました。着実に努力を重ねた先輩、落ちこぼれからスタートした先輩、二年目に夢をかなえた先輩。さまざまな経歴・思いを持った先輩方の体験談からは、どんな大学を目指す人も、盗めるところがきつとあるはずですよ。



理科2類(都立西高等学校出身)  
**岡 実穂さん**

中学の頃から医療系の職業を目指して、高校ではがんの研究が治療をしたいと考えるように。医学か薬学か迷っていたが、高3の夏に初めて薬学部志望に決めて、東大を目指すようになった。将来は新薬の研究、抗がん剤の研究をしたいと思っている。  
『ゴロで覚える古文単語—ゴロ565(ゴロゴ)』(アルス工房)を使って全て語呂で覚えると、古文が読めるようになり、一気に成績が上がった。他はほとんど参考書を買わずに、学校で使うプリントを使った。過去問は先生に見てもらったり、友だちと添削しあったりした。採点は自分以外の人にやってもらう方が絶対力になると思う。



理科2類(日比谷高等学校出身)  
**伊豆本 聡くん**

高校に入学した当初の「東大に行きたい」との思いは、わずか1ヶ月でしぼんでしまった。しかし、高2の冬から再び東大を目指すように。課外活動では、バドミントン部の部長なども務めた。現役合格は逃したものの「これから1年本気でやるぞ」と気合いを入れて浪人生活を過ごした結果、見事合格。文系にも興味があるので、文系にも強い理系人材になりたい。  
センター試験の物理・化学では二次試験に出ない範囲も出題されるため、二次に出なくてセンター試験には出るところが凝縮して載っている、東京出版の『センター対策マニュアル』が役立つ。



文科3類(土佐塾中学高等学校出身)  
**青木 太一くん**

高校受験がなく、中学の頃はずっと遊んでいた。そのツケが高校で回ってきて、まったく勉強ができなくなった。奮起して勉強を始めたところ、高1の冬に担任から「君みたいに目標がないタイプは東大に行くと、進学振り分けを使って色々考えろ」といわれ、東大を目指すことに。将来の目標は考え中。  
英語は東大・京大の英語25か年をこなした。前者で形式に慣れ、後者の良質な長文50題を解くことで長文への苦手意識を克服できた。地歴は教科書の内容が浅い場合があるので、できるだけ幅広く、色々な種類の問題をやらうと、予備校が出版している東大模試の過去問問題集や他大学の問題に取り組んだ。社会は論理力や記述力より知識量で差がつく。

行事が大好きで、高校ではクラス代表やイベント実行委員をよくやっていた。勉強時間はかなり削られたと思いますが、友達との関係も深まるなど、他では得られない感動もあり、やっていたよかったです。勉強ばかりだと蒸詰ります。

学校の行事にも積極的に参加したことで友達もたくさんできました。1年間浪人してても、高校生活で部活、行事、遊びをいっぱい楽しめてよかったと思っています!

放課後に友達とたわいもないことを話すが一番の息抜きでした。

## 東大合格者座談会

### おすすすめの勉強方法

**雨山さん** / 私は、暗記しなければいけないものは絵を描いて覚えていました。日本史ならこの事件にはだれとだれが関連しているといったことをデフォルメして描くわけです。数秒で殴り描きます。絵は下手ですが、それでも自分の頭に浮かんでくればいいんです。テスト前にやっていると効率がよかったです。受験勉強にも応用しました。一般的にも絵と一緒にだと覚えやすいと聞きますから、間違っ

てはいないはずですよ。ちなみに「日本史」は、学校の先生や東大に合格した先輩が薦めてくれた問題集を使って、独学しました。二次試験対策の記述から入ってもセンター並みの知識はついたので、直前でもあきらめずに繰り返し解くことが大切だと思います。

**久保田くん** / 地理歴史などは書き直す時間がもったいないと思います。「書き直さないぞ」という気で、ボールペンで60字なら60字のマス目に書く練習をしました。いきなり書き始めず、考えをまとめて、これなら書けるといいう状態で書き出す。その方が書き直すより絶対に時間がかかります。会場でもボールペ

ンを使っている人を見ることがありませんから、独自の方法ではなにかと思います。

**伊豆本くん** / 歴史だけでなく、英単語や物理、化学などでも語呂合わせをよく使っていました。物理の単振動ではA<sub>1</sub>ω<sup>2</sup>という式を使うとうまくいきますが、これがなかなか覚えられず、友達との「アオオメオメックス」という語呂合わせで覚えられました。

**岡さん** / 手帳サイズのリング式のノートで「ワンポイントノート」を作っていました。教科別にページを作っていて、どうしても覚えられない公式などをまとめて書いておいて、試験前に確認していました。リング式なので自由に増やせますし、覚えたページは外せばいい。試験前に見直しをするにも役立ちますし、何よりもこれだけやったということが目で確かめられて自信が持てました。

**金くん** / 物理・化学などは特に、受験範囲の終わった秋頃に演習をやりたいかなるものですが、その際、本番と同じ大問3題ほどを自分で選んで、東大の答案用紙をコピーしたものに紙をコピーしたものに見られるので、むしろ解くといいと思います。初めは設定時間を長めにしても構いませんが、少しずつ短くしていくと、最後は本番

### 憶えろ! 書くこと

より短い時間で解くようにする。僕は冬頃から取り組みましたが、かなり解くスピードが上がりました。東大の回答用紙は線も何もなくて独特ですから、回答紙の使い方の勉強にもなりました。

編集部 / 合格のためには、知識量が必要ですか?

**久保田くん** / 歴史は知識量だと思います。知識があれば、教科書などは何度も読んでいるので、それなりの文は書けると思う。

**岡さん** / 理系科目もある程度覚えていないと、時間が足りなくなります。

**久保田くん** / 数学は結構論理的に考えました。

**伊豆本くん** / 数学は確率や行列などは、意外と暗記で解ける部分も多いので、ヤマをはったところくらいは暗記するといいと思います。

後、英単語はそんなに難しいものはない。読解力、論理力ももちろん求められますが、オールラウンドに見られるので、むしろ問題意識やリスニング力、作文力をつけたいですね。

**雨山さん** / 東大の英語は時間配分に困るほどの長文ですから、読む速度上げるか、読みながらある程度意識できるように、できるだけ多くの問題を解いたり、色々な英文を読んでみたりすることも大切です。

国語は、自分でわかっていないと判断されやすいので、過去問などに当たって、解答は自分の書いた文章の論理が通っているかを学校や塾の先生に見てもらおうと思います。英語でも要約和訳の難関大問題集を買って、添削してもらっていました。

**金くん** / 私は予備校で「夏が天王山」というのは嘘だ」と聞きました。

**青木くん** / うちの学校に頼らざるを得ない状態だったので、英語、国語、地理は学校でした。

**伊豆本くん** / 現役の時

は9月に文化祭があったので、文化祭の練習に明け暮れ、それが終わった後も友達と遊んでしまい、ほとんど勉強できませんでした。浪人中も、夏休み中は予備校の自習室が混んでいてやる気をなくして

たしかに現役生は自由な時間が増えますが、10何時間勉強したというの正直がんばりすぎだと。秋以降は演習なども始まるので、弱点をなくすなど、秋からの勉強につながることをする方が大切だと言われました。時間があるといっても夏で全部やることは不可能です。

**伊豆本くん** / 現役の時

**Human&Heart**  
「ひと」と「こころ」を大切にする大学。

**プレテスト実施! オープンキャンパス 10/3(日)**  
[10:30~15:30(受付10:00~14:30)]  
事前申込不要・入退場自由・無料ランチ付

- 学科紹介・模擬授業
- 入試説明会
- 個別相談ブース など

◆南海高野線「金剛」駅からスクールバス無料運行!

入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	試験会場
前期	10/8(金)~10/19(火) (窓口出願)10/20(水)9:00~16:00	10/30(土)	本学・名古屋・京都・和歌山・神戸 岡山・広島・高松・福岡
後期	11/8(月)~11/17(水) (窓口出願)11/18(木)9:00~16:00	11/27(土)	本学・京都・和歌山・神戸・岡山

**大阪大谷大学**  
薬学部・文学部・教育福祉学部・人間社会学部

入試広報課  
〒584-8540 大阪府富田林市錦織北3-11-1  
Tel. 0721-24-1031 Fax. 0721-24-5120  
[大学公式サイト] <http://www.osaka-ohitani.ac.jp>

くわしい入試情報については受験生応援サイト **club oh!** をご覧ください! CLUB oh! 大谷 検索



書評

雑賀 恵子

大阪教育大学附属高等学校天王寺学舎出身。京都薬科大学を経て、京都大学文学部卒業、京都大学大学院農学研究科博士課程修了。大阪産業大学他非常勤講師。著書に「空腹について」(青土社)、「エコ・ロコス 存在と食について」(人文書院)。



### 酒井 啓子 《中東》の考え方 講談社現代新書、2010年

世界は広い、国連加盟国数だけでも193ほどある(2010年)らしい。しかし新聞や教科書の統計資料で日本との比較で取り上げられる「各国」「世界」というのは、大抵の場合、欧米であって、アジアがあるとしてもせいぜいが中国、韓国くらいだ。このことは、わたしたちが自分の国をどのようなところに位置づけているかを指し示している。基地問題などを語るときも、極東軍事バランスなどと言ったりする。なぜ「欧米から見て」西にあるはずの日本が極東なのか、という、もちろん、欧米の地図を見ると分かる通り、欧米の地図では中心に欧米がくるように配置されているからであり、そうすると日本は地図の右端の小さな島、極東なのである。

さて、極東に対しての近東、中東の辺りのことを、わたしたちはどのようにイメージし、どのように捉えているだろうか アラブ諸国? イスラム圏? どう表しても、すり抜けてしまう。そもそも、中東とまとめてしまっているのか。いろんな紛争が起こっている地域であり、また産油地帯としても重要であり、さらに古代史では「中心的」位置にあってさまざまな遺跡があること程度は知っている。だが、どうしても「中東」というのは分かりにくい、ややこしいという印象を持っているのではないか。なによりも、宗教が違い、文化が違う…。

しかしそれは、欧米を中心とした見方、あるいは、欧米を経由した日本の見方、つまりは外側から見た「中東」なのである。「中東」の内側から語られたものによって、なにものを経由しないで相互に対等なものとして理解しようとする。本書は、「中東」にまっすぐに接近しようとする道の、とても優れた導き手である。

近代の植民地主義政策とはどのようなものであり現在にどのような影響を与えているか、パレスチナ問題とはなにか、いわゆる9.11以降の世界情勢を冷戦時代に展開された米国の諸政策から読み解けばどうなるか、イスラム主義はどうして台頭してきたのか。

著者はイラクを中心とした研究者であるが、「ばらばらに散らばった、中東についての知識や分析をできるだけつなげて、消えゆく事件や戦争の記憶を、いま私たちが生きている世界の動態のなかに位置づける」(本書「おわりに」)ことによって、中東というものを内側から描写しつつ、見事に私たちの生きているいまこの世界の地層をあらわにさせている。

そして、ここから立ち上がってくるのは、単純なイメージで表象される「中東」ではなく、個々に生きているひとびとの姿なのである。



### 文科2類(千葉県立千葉高等学校出身) 久保田 英明くん

高校に入学してから、ふつうに定期テストの勉強をしていたつもりが、初めての評定がクラスで3番。千葉高では、クラスで3番以内なら東大にいけると聞いたことがあったため、東大を意識するように。高1の春から東大一本、天狗にならないように着実に勉強した。昔から漠然と日本を動かしたいと考えていて、将来は国家公務員などに就くことも考えている。進研ゼミがやっている東大特講√Tの問題集が役立つ。センター科目系は、毎月割り当てられているものを信じてひたすらやった。数学は『大学への数学』(東京出版)で基礎力をつけて、後は過去問を解いた。また『速読英単語 必修編』(Z会出版)を、CDを流しながら音読すると楽しく身に付く。上級編もあるが、まったく勉強しなくても東大の文章は読めた。英単語はそこまで難しいものは出ないが、オールラウンドな力をつけるのが大事。

毎週月曜日に発売される『少年ジャンプ』が大好きで、それを楽しみに1週間を過ごしていました。生きがいのようなもので、受験期ももちろん読んでいました。



### 文科3類(北海道帯広柏葉高等学校出身) 雨山 楓さん

中学までは勉強が苦手でいわゆる“落ちこぼれ”。高校ではそんな自分をリセットしたくて、授業の復習をはじめとする勉強の習慣を身につけ、家庭学習の時間を増やした。高2の夏の模試後「もう少し上を目指してみないか」と担任に言われたのがきっかけで、志望校を北大から東大に変更。直前まで模試の成績はEランクだったが、無事合格。将来は国際関係の仕事に就きたいと考えている。数学の『青チャート』(数研出版)は解法も細かく、全部解くのは大変だが、全部解けば基礎ができるので東大の問題にも応用できるはず。日本史の記述の問題集は、難関大の過去問をベースにして解説がついているもので、東大だけでなく同じくらいの難易度で世界史が難しいといわれる一橋なども含む問題集を、教科書で調べながら、繰り返し解く。国語、数学は東大、京大クラスになると特性が出てくるので、何度も過去問を解く。それを身近な人に見てもらうのが一番。

昔から読書が好きで、お風呂の中で単語帳を読もうとするもの、結局小説を読んでいた。



### 理科1類(早稲田中学高等学校出身) 金 剛洸くん

中高一貫だったこともあり、中学の間は部活や遊びが中心で、勉強は意識していなかった。高1の時にそのまま早大に行くのか、国立に出るのかを考えて、早大へ進まないなら東大しかないと考えた。予備校頼みでみっちり勉強した。自分で唯一、全部解いた問題集は物理の『難問題の系統とその解き方』(ニュートンプレス)。また、東大を受ける人は『東大の○○25カ年』という教科別の過去問題集を早めに買った方がいい。

中高一貫で部活ができたのは色々な思い出作りや仲間作りにとってもいい経験でした。



見ると見かねたのか数日前にのびました。それまでは勉強が足りなかったのか、方法が悪かったのか、本当にできなくて、一気に何十点ものびた感じでした。事実、数学は本番3日前にのびました。それまでは勉強が足りなかったのか、方法が悪かったのか、本当にできなくて、一気に何十点ものびた感じでした。

久保田くん/現役生に。元々苦手な人には効果的だと思います。岡さん/現役の時ですが、センター終わってからの直前1か月で生ものがぐっとのびました。

「今日は18時間」という書き込みを見て逆にやる気を失って、あまりがんばれませんでした。ただ、夏にがんばれなかったという気持ち、本番前のがんばる力につながったのではないかと今では思います。冬休み前や本番前にがんばるとまだまだのびます。

金くん/僕も本番2週間前くらいにリスニングを毎日1時間程繰り返したり、過去問を解いたりしていたら、本番では全問正解じゃなかった。学校の先生にはあり得ないと言われましたが、リスニングは一旦のびるとすぐに点数が上がりますから元々苦手な人には効果的だと思います。岡さん/現役の時ですが、センター終わってからの直前1か月で生ものがぐっとのびました。

ました。ただし、最低限はやっていました。雨山さん/私の学校では、難関大を目指す人十何人かが集まって、1日何時間勉強したかを毎日ネットの掲示板に書き込むキャンペーンをやっていました。私は夏の模試ではE判定だったこともあって、「今日は18時間」という書き込みを見て逆にやる気を失って、あまりがんばれませんでした。ただ、夏にがんばれなかったという気持ち、本番前のがんばる力につながったのではないかと今では思います。冬休み前や本番前にがんばるとまだまだのびます。

学部の先生が、本番1週間前に大量の過去問を添削してくれて、それで傾向がつかめたのか、何かが目覚めたようでした。それまで、このままでは0点に近いと思っていただけです。1月31日までが期末試験でしたから、集中して勉強できたのは2月からでしたが、その後の3週間、過去問にひたすら取り組むことで、すごくのびたと思います。僕は邪道かもしれませんが、2月くらいからやっていたのが、本番で一番悪いと思いましたが、ただ僕自身は、模試の判定が悪くても受かる受験生は全体の中では微々たるものだし、最後までこのびるということに自分としては自信がなかったので、常に淡々とやっていました。

夏のオープンキャンパスに多数のご参加ありがとうございました。  
**AO入試、願書受付中!**  
試験日 9/12日 鍼灸学科 理学療法学科 対象  
10/3日 鍼灸学科 理学療法学科 看護学科 対象  
Acupuncture 鍼灸  
Physical Therapy 理学療法  
Nursing 看護  
[2011年4月開設]  
統合医療教育の実践、そして新学科開設。  
臨床力を育み続ける医療系の大学だから、できること。— 満足度が違う。  
空、海、大阪。都市でメディカル。  
Morinomiya University of Medical Sciences  
森ノ宮医療大学  
大阪市住之江区南港北1-26-16 ☎0120-68-8908 http://www.morinomiya-u.ac.jp/





光の三原色と色の三原色

人間の目が色を感じるのには、波長の異なる光が視神経細胞を刺激するからです。視神経は三種類あつて、それぞれが波長の違う三種類の光を感じます。これが「光の三原色」です。RGBという言い方を聞いたことがある方も...



光の三原色

青でシアンに見えますし、すべての色が三原色の強さを加減して混ぜ合わせることで作れます。RGBを同じ強さで混ぜた色は真っ白です。逆に白からRGBを引いたら、両方を吸収するの...

発光ダイオード(LED)の立役者は日本人

私たちの生活にも光は欠かせないものです。これまでよりも10倍程効率がよい、つまりエコなのです。ただこのLED。1960年代に開発されたものの、赤から黄緑色くらいまでの波長の色しか作ることができず、全部の色が作り出せない状況が長く続きました。そんな中、1993年に、最も波長が短くて難しい青色発光ダイオードを、当時徳島の中小企業の研究者だった中村修二先生(現カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授)が開発したのです。...

光と色の不思議にせまる

植物の葉が緑色を好むからではありません。じつくり考えないと間違えそうですが、実は、葉には緑色光が必要なのではないのです。...

LEDの仕組みは難しいものではありません。プラスの電気がつまったp型半導体と、マイナスの電気がつまったn型半導体という性質の異なる2つの半導体がくっついていてできているのがLEDチップで、そこに電流を流すとプラスとマイナスの電気がばちんとぶつかります。...

ただこのLED。1960年代に開発されたものの、赤から黄緑色くらいまでの波長の色しか作ることができず、全部の色が作り出せない状況が長く続きました。そんな中、1993年に、最も波長が短くて難しい青色発光ダイオードを、当時徳島の中小企業の研究者だった中村修二先生(現カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授)が開発したのです。...

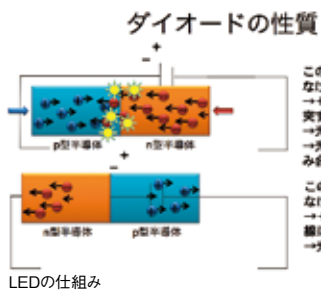
このように電池をつなげると... 電気が流れる。このように電池をつなげると... 電気が流れる。このように電池をつなげると... 電気が流れる。...

RGBは身近なところでは、パソコンで使われています。プログラミングなどが得意な人はよく知っていると思いますが、コンピュータで色を指定する時には、RGBを16進数の強さで配合したカラーコードで表します。16進数は1から始まって2ケタになる10は「A」、11が「B」とアルファベットを使って、16が「F」になります。RGBの順番でそれぞれを2ケタで表すので「FF0000」は赤色になります。「000000」は黒、「FFFFFF」は白です。



愛知大学名誉教授 NPO法人 あいんしゅたいん理事長 坂東 昌子先生

Profile 1965年同大学大学院理学研究科博士課程修了(博士号取得)。京都大学理学部助手、講師を経て、87年より愛知大学教養学部教授。専門は素粒子論、非線形物理。京都大学に保育所設立を実現させるなど、女性研究者の支援でも活躍。京都大学の湯川秀樹研究室で素粒子論を専攻。ノーベル賞を受賞した小林・益川博士とは助手時代は同じ研究室。2007年日本物理学会長・同キャリア支援センター初代センター長を経て、2009年3月若手研究者支援のためのNPO法人「知的人材ネットワークあいんしゅたいん」を設立。現在に至る。『4次元を超える物理と素粒子』『理系の女の生き方ガイド』など著書多数。大阪府立大手前高等学校出身。



LEDの仕組み

どうして数学を学ぶの? 第22回

曲率のはなし

御園 真史 東京大学大学院情報学環ベネッセ先端教育技術学講座客員助教 東洋英和女学院大学・湘南工科大学他講師 博士(学術) 公式ホームページ http://www.miso-net.to/ ツイッター ID:miso\_net

こんにちは、御園です。今回も曲線に関わる話をしてみたいと思います。

■曲がり具合を表そう

今年の3月に首都高速中央環状線と、東名高速道路につながる首都高速3号渋谷線が大橋ジャンクションで結ばれました。このジャンクションは、地下約35メートルの山手トンネルから地上約35メートルの高架橋までの高低差約70メートルを、写真1のようにぐるぐると2周分の曲線を描きながら結びます。ちなみにこの写真は、開通前のジャンクション見学会のときに撮影したものです。高速道路を歩ける機会は、開通後はまずな...



写真1

いですね(笑)。さて、このような急カーブが連続する道で、写真2のような看板を目にしたことはありませんか? ここで注目してほしいのは「R60m」という表示です。これはいったい何を意味するのでしょうか?

実は、Rとは半径のことです。数学でも半径をよくrと表しますが、これは半径を意味するradiusの頭文字からとったものです。つまり、「R60m」とは、カーブを円の弧とみなしたときの半径が60mだという意味です。

直線からカーブに入るとき、だんだん緩いカーブから急なカーブに変化していくのが普通です。そうでないと危ないですよ。これを円の半径で考えると、カーブが緩やかだというのは、そのカーブの半径がより大きい円の円弧とみなせる場合で...

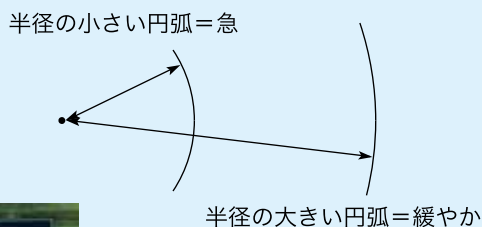


写真2

あり、カーブが急だというのは、半径がより小さい円の円弧とみなせる場合です。つまり、この半径が大きければ大きいほどそのカーブは緩やかであり、小さければ小さいほどそのカーブは急だということで、曲線の曲がり具合を示す指標に使えます。このような半径のことを数学では「曲率半径」と呼びます。道路や鉄道の線路などの設計では「曲線半径」という言葉が使われているようです。

■曲率

さて、曲率半径を使うと、より急なカーブのほうが数値が小さくなるという逆転の関係があり、これが不便なことがあります。そこで、曲率半径の逆数をとったものを考えます。つまり、曲率半径がrだとしたら、1/rです。これを「曲率」と呼びます。逆数をとることによって、より急なカーブのほうが数値が大きくなります。

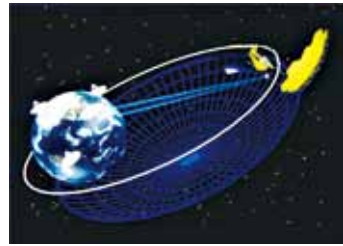
曲率を用いると、半径rの円の曲率は1/rであるといえますので、半径1の円の曲がり具合がちょうど曲率1です。また、曲率半径がどんどん大きくなって∞(無限大)となった状態が直線で、そのときの曲率は0になります。曲率0は全く曲がっていない、つまり、まっすぐな状態です。なお、計算は省略しますが、放物線y=a^2の原点における曲率は2であるということが知られています。



法政大学理工学部創生科学科 ※仮称 ※2011年4月開設予定 設置届出済・収容定員増認可申請中

# 科学・技術教育の新しい形をめざして

2011年、法政大学理工学部新しい学科が誕生します。その名も創生科学科<sup>※1</sup>。最先端の知識・技術を持ち、特定の分野に限定せず、様々な分野を俯瞰し、それらを総合的に理解できる理系技術者、IT技術者、そしてメーカーやシステム会社に限らず総合職として活躍できる人材を、21世紀が求める「理系エンジニアリスト」と定義し、その育成を図ります。理系・文系を問わずその活動分野は広く、具体的な職業としては、開発技術者、知能情報技術者はもちろんのこと、プロジェクトのコーディネーター、サイエンスライター、科学解説員などの科学コミュニケーションやコーディネーター、科学を専門とする通訳者、などがイメージできるとしています。いわゆる文理融合型の学問とは線を画すという、創生科学の「創生」たる由縁を、学科長に就任予定の春日隆教授にお聞きしました。



Astro-Gの全体図 ©ISAS/JAXA



法政大学理工学部教授 春日隆先生

**Profile**  
東京大学理学部物理学科卒業。同大学理学部研究科物理専攻修士博士課程修了後、同大学海洋研究所海底物理部門(地球物理部門)助手、第22次南極観測隊員、国立天文台(東京大学東京天文台)野辺山宇宙電波観測所助手等を経て、現在に至る。開成高等学校出身。

## 今、なぜ新学科か？

科学・技術の急速な進展とともに、今日ほど私たち一人ひとりに科学的態度や科学的アプローチ、問題分析力が求められる時代はなかったと思います。地球温暖化、資源・エネルギー、水・食料などの問題、遺伝子操作や万能細胞の創生に伴う生命倫理の問題など、誰もが、科学について知らないでは済まなくなってきたのです。

に直接携わらなくても、これらに沿った活動をするために自らも科学的態度やある程度の知識、分析力を備えておく必要があります。さらにトップや計画立案者ともなれば、科学、技術についてのそれ以上に広範な知識や理解と、それに基づいて総合的な評価を下せる判断力が求められます。にもかかわらず、現在の日本の大手企業では理系出身のトップはまだ3割とも言われるように、このような認識はまだ一般的なではありません。おそらく同様のことは、市民の側にもいえると思います。ここに、私たち

が新しい学科を開設し、今後、数多くの理系エンジニアを輩出していかなくてはならないと考えた大きな背景があります。

ところで、学術会議と総合科学技術会議は、この春からこれまでの「科学技術」を、科学と技術とはっきり分けて考えるために「科学・技術」と表記するようになりまし。ある時期から曖昧にされてきた、基礎研究を中心とした科学分野(もの)の探索、とその応用である技術分野(ものづくり)は、両立するものであるとお互いに補い合うものであることを明確にし、それぞれに激しい国際競争の中で勝ち残っていくためのしかりとした目標を掲げていくべきだとした

## 教育の特色

創生科学科では科学的思考、態度と科学的分析力をゆるぎないものにするための基礎・基盤、いかにそれを裏付ける思考や、知識と方法、評価基準を確実に身に付けます。同時に幅広い知識、教養を身に付け、そのうえで自然と社会の協調のもとに、いかに人間の豊かさを創生していくかについて考えます。分野を横断し、理系・文系を超えて学際的に科学技術や情報技術のあるべき姿を考えるのです。

そのために、「科学」を自然科学や物質科学に限定せず、知能科学、さらには人文、社会科学まで含めて捉えます。しかし「科学」の基礎・基盤は物理と数学にあり、これらどの分野でも通用するべきものですから、それをしっかりと身につけることを教育の根本とします。そして、それに基づいた科学的思考と科学的評価力、客観的判断力を武器とします。この点では、学際分野を表面的になぞっただけの学問や、実質的には教養教育でありながら、環境など受けのよいテーマを前面に掲げたものとは線を画します。

創生科学科のもっとも大きな教育の特色は、科学の基盤の教育として低学年に配当される「科学のみちすじ」と呼ぶ教育体系と、それを実践する高学年で用意される4つの「フィールド」にあります。「科学のみちすじ」とは、物理と数学を基盤に様々な事象・現象に共通する原理を解明し、それをモデル化する技法を習得するところまで発展させた専門基礎科目と

3・4年では、現代科学を代表する「物質」、「自然」、「人間」、「知能」の4分野を代表的「フィールド」として学びます。「物質」は量子やナノ分野に代表される極小世界を、「自然」は宇宙天文に象徴される極大世界を、「人間」は心理、言語やその環境である社会的世界を、「知能」は人間の情報処理、処理過程を対象とし、ロボット研究も含みます。ただしコース制とは異なり、それぞれの「フィールド」の基礎部分については全員で学びます。その後あと、各自が選んだフィールドで、「科学のみちすじ」で身につけた科学的な考え方や問題解決方法を、実例や実践を通してさらに踏み込んで確かめることになり


3・4年では、現代科学を代表する「物質」、「自然」、「人間」、「知能」の4分野を代表的「フィールド」として学びます。「物質」は量子やナノ分野に代表される極小世界を、「自然」は宇宙天文に象徴される極大世界を、「人間」は心理、言語やその環境である社会的世界を、「知能」は人間の情報処理、処理過程を対象とし、ロボット研究も含みます。ただしコース制とは異なり、それぞれの「フィールド」の基礎部分については全員で学びます。その後あと、各自が選んだフィールドで、「科学のみちすじ」で身につけた科学的な考え方や問題解決方法を、実例や実践を通してさらに踏み込んで確かめることになり

創生科学科が目指すのは、21世紀型の理系人材の養成であり、日本の大学における理工学教育の先進モデルの構築です。変化の激しい時代には、新たに作るものだからこそできることが少なくないと思います。みなさんのチャレンジを待っています。

**高校生へのメッセージ**  
理科が好きであれば言うことはあませんが、自分が理系に向いているのか文系に向いているのか、十分な知識のないまま高校生の段階で判断するのは少し難しいかもしれません。また今の社会では、メーカーへ就職したり、技術者や研究者になったりしなくても、理系の知識や分析力は不可欠ですから、あまり理系か文系かに拘わらないほうが良いと思います。また、たくさんの女子にもチャレンジしてほしいですね。  
物理や数学を基盤にする、と聞くと難しく感じる人もいるかもしれませんが、それは中学、高校でのテストや大学入試が、とりえず正解というものを求めすぎているからかもしれません。本来これらの学問はプロセスが大事です。しかもそこが面白いのです。こうした考えから新学科では、大学では0からやり直すつもりで取り組んでもらうこととしています。もちろんこれは、大学で高校の学習内容を復習するという意味ではありません。

**ご専門は**  
天文学、その中でも電波望遠鏡を使って送られてくる電波を分析して宇宙の様子や仕組み、その成り立ちを解明する電波天文学と、そのための検出技術の開発が専門です。  
電波天文衛星「はるか」の後継として打ち上げを予定されているASTRO-G(アストロ・ジー)によるVSOP-2※などのプロジェクトにもかかわっています。新学科で私の担当するフィールド(自然)では、他に重力波天文学、光学天文学の専門家が就任する予定です。ほかの大学や、他の研究機関と連携して本格的な宇宙科学・天文学を学ぶことができます。他の3つのフィールドでもそれぞれの分野の第一人者の先生が就任する予定です。100名の学生に対して専任教員が20名と、質が高く内容の濃い教育や実習、実験ができるのではないかと張り切っています。  
※アストロ・ジーに搭載されたアンテナと地上の電波望遠鏡とで巨大な望遠鏡を形作り、超巨大ブラックホールの周辺で起きている極限現象の解明を目指す。

実験・実習科目からなる体系です。具体的には、各種の実験や分析手法および評価方法、物理・数理モデルの構築とそれを確かめるためのシミュレーション技法などを、理論と実践の両面から学びます。  
3・4年では、現代科学を代表する「物質」、「自然」、「人間」、「知能」の4分野を代表的「フィールド」として学びます。「物質」は量子やナノ分野に代表される極小世界を、「自然」は宇宙天文に象徴される極大世界を、「人間」は心理、言語やその環境である社会的世界を、「知能」は人間の情報処理、処理過程を対象とし、ロボット研究も含みます。ただしコース制とは異なり、それぞれの「フィールド」の基礎部分については全員で学びます。その後あと、各自が選んだフィールドで、「科学のみちすじ」で身につけた科学的な考え方や問題解決方法を、実例や実践を通してさらに踏み込んで確かめることになり



EVERYTHING IS POSSIBLE

新設学科情報

2011年4月理工学部に  
**創生科学科(仮称※)**  
を開設予定

※設置届出済・収容定員増認可申請中

創生科学科は、理系、文系を問わない幅広い分野に進出できる能力と意欲を持つ理系ジェネラリストを育てます。科学の礎である物理学と数学を学び、科学的な考え方や問題解決方法を習得し、様々な「フィールド」で活用できる統合力と汎用力を身につけます。理系と文系を融合できる技術者や商社などで活躍するビジネスパーソンや大規模プロジェクトのコーディネーターなど、今までにないタイプのスペシャリストとして活躍することが期待されます。

※内容は変更する場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。

入試情報

全国10会場ですべて学部受験できます

(GIS及び理工学部機械工学科航空操縦学専修除く)

2011年2月5日(土) 統一日程(T日程)入試  
東京(法政大学)・札幌・仙台・新潟・金沢・長野・名古屋・大阪  
広島・福岡

全国6会場ですべて学部受験できます

(理工学部機械工学科航空操縦学専修除く)

2011年2月6日(日)~16日(水) 各学部の個別入試(A方式)  
東京(法政大学)・札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡

センター試験利用入試が変わります(B・C方式)

2011年度入試より、センター利用入試(後期日程)を廃止し、センターB方式(3~5科目型/13学部35学科3専修)・C方式(5教科6科目型/8学部19学科)を導入します。新たに、受験科目も増え、文学部心理学科が受験可能となるなど、さらにチャンスが広がります。



アロマで見る世界史 第4回



●講師 森 広子
医学修士、正看護師、柔道整復師、介護支援専門員、アロマコーディネーター、アロマイストラクター。現在、和歌山県立医科大学大学院医学研究科博士課程に在学し「活性酸素」の研究に従事。森ノ宮医療大学非常勤講師。森ノ宮医療学園専門学校柔道整復学科教員。同専門学校にて、一般の方も学べる「アロマコーディネーター資格取得講座」を開講中。

実は歴史の古い「アロマ」。世界史に潜むアロマの意外な働きに、毎号せまります。 ●提供/森ノ宮医療大学

医学の父「ヒポクラテス」もアロマを推奨



古代ギリシャ、医学の父と称される「ヒポクラテス」(紀元前460~370)。ヒポクラテス医学の誕生により、医療は魔術から切り離され、科学的な医学のスタート地点に立ちました。医師であったヒポクラテスは「健康は、芳香風呂に入り、香油マッサージを毎日行うことである」と述べ、芳香植物を積極的に治療に取り入れ、芳香植物を用いた入浴やマッサージを推奨したといわれています。

日本にアロマセラピー(芳香療法)が伝わったのは、わずかに25年前。化学薬品信仰が強い我が国では、医療現場でのアロマセラピーの活用はかなり遅れていますが、最近では医療現場での活用も広まりつつあります。

想像も及ばないにしえの時代から、芳香療法を推奨していたヒポクラテス。やはり、医学の父の先見の目は鋭い!!

アロマバスの方法

- ①バスソルト(天然塩)大きじ2杯に、お好みの精油5滴を混ぜます。
②お風呂に入れ、よくかき混ぜて入りましょう。
安眠に適した精油→真正ラベンダー、マンダリン、プチグレン、ネロリ、カモミール・ローマン、オレンジ、マージョラムなど



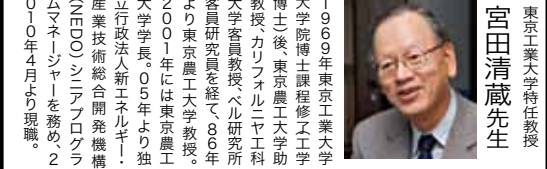
北海道が一年の中で最も高いシーズンを迎えています。エゾ松やトド松、ポプラやイヌアカシア、それに桂などが緑いっぱいに葉を繁らせています。この時期には真冬の冬枯れの景色は想像もつきません。



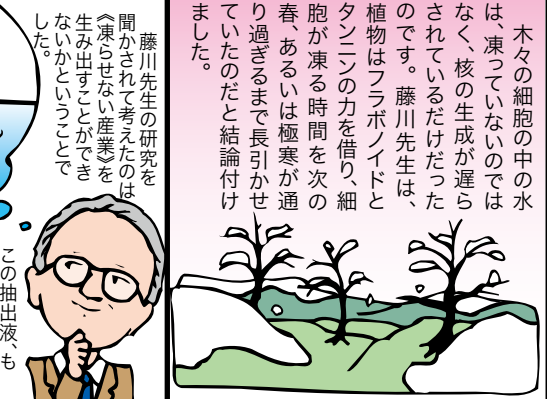
木々もみな細胞でできていて、その大部分は水分です。20℃にもなる北海道の厳冬期、細胞の中にある水は本来なら凍って体積が膨張し、ほとんど細胞は壊れてしまっています。

自然から学ぶ。効き目アリ 第2回

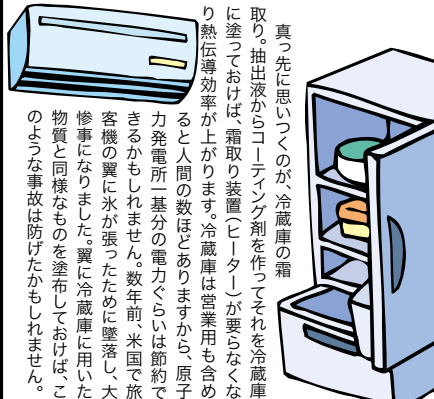
自然から学ぶ。効き目アリ 第2回 極寒に耐える植物から人間の健康まで



「水は0℃になると凍ると、理科では習いました。しかし実は、0℃になったからといってそんなにきちんと凍るわけはありません。0℃は水の融点ですが、よく知られていないのは凝固点降下という現象です。代表的な物質は塩で、融雪剤などはこの原理を使っています。しかし、20℃から30℃になると凝固点降下も



ある飲料メーカーではグレープフルーツジュースを生産地のカリフォルニアで-20℃で凍らせて日本へ運んでいます。しかし凍らせるのは細菌を繁殖させないためです。その成分を少し入れておけば、凍らす必要はありません。1gの水を20℃のカリフォルニアで凍らすには20calのエネルギーが必要ですが、20℃の溶液にして運んでくれば、1gにつき3分の1の40calですみます。しかも混入するのがポリフェノールやタンニンです。ですから体にもよいのです。



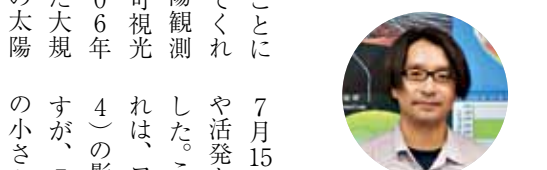
真っ先に思い浮かぶのが、冷蔵庫の霜取り。抽出液からコーティング剤を作ってそれを冷蔵庫に塗っておけば、霜取り装置(ヒーター)が要らなくなり熱伝導率が上がります。冷蔵庫は営業用も含めると人間の数ほどありますから、原子力発電所一基分の電力くらいは節約できるかもしれません。数年前、米国で旅客機の翼に氷が張ったために墜落し、大惨事になりました。翼に冷蔵庫に用いた物質と同様のものを塗布しておけば、このような事故は防げたかもしれません。



藤川先生の研究を聞かされたのは「凍らせたい産業を生み出すことができないか」ということでした。この抽出液、もしくは化学的に同じ成分のものを作った水に1%以下混ぜるだけで、20℃から30℃の凍らない水ができるからです。

最近の宇宙天気

太陽活動は、太陽風・地磁気活動は、上昇しつつあります。電離圏は概ね静穏な状態でしたが、Es層が頻発しています。



情報通信研究機構 電磁波計測研究センター 宇宙環境計測グループ 専攻研究員 井上 諭先生 Profile 奈良県出身。大阪桐蔭高等学校卒業。06年に広島大学で学位を取得後、名古屋大学、海洋研究開発機構で博士研究員を経て、09年8月に情報通信研究機構に入所。専門は宇宙プラズマ物理学、太陽物理学。現在は太陽フレアの発生機構等をスーパーコンピュータを用いて調べている。

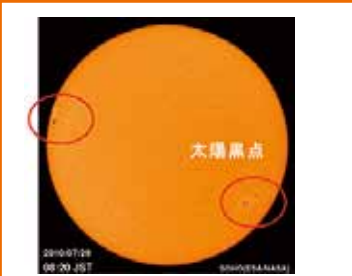


図1 SOHO衛星(ESA&NASA)

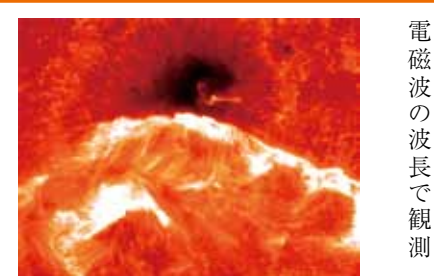


図2 太陽観測衛星「ひので」の可視光で観測された太陽フレア(国立天文台提供)

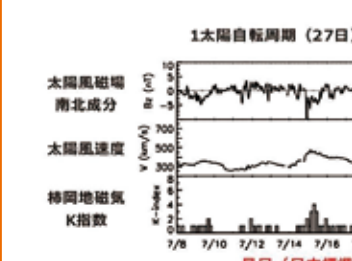


図3 上から太陽風磁場、太陽風速度、地磁気指数を示す。太陽風磁場の变化、太陽風速度の上昇、地磁気指数の増大から、地磁気の乱れの様子がわかる。

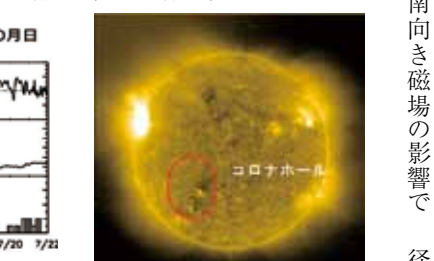


図4 SOHO衛星(ESA&NASA)の極端紫外線で観測されたコロナホール(丸で囲んだ部分)



図5 SOHO衛星(ESA&NASA)のコロナグラフで観測されたコロナ質量放出(丸で囲んだ部分)

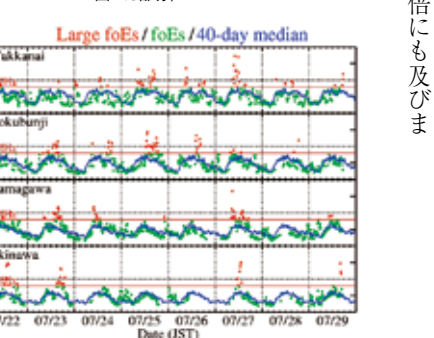


図6 国内4観測地点の強いEs層の発生状況(赤点)

太陽活動

この2カ月の太陽活動は、小規模(Cクラス)のフレアが時々発生しましたが、概ね静穏な状態が続きました。太陽フレアというものは、太陽の大気中で起こる爆発現象で、規模の大きいフレアは黒点上空でよく観測されます。太陽フレアは、様々な電磁波の波長で観測

され、その波長ごとに様々な姿を見せてくれます。図2は太陽観測衛星「ひので」の可視光衛星「ひので」の可視光望遠鏡が2006年の12月に観測した大規模なX3.4クラスの太陽フレアです。明るく光っている筋が2本見えています。図2のようフレアは、「two ribbonフレア」と呼ばれています。

7月15日に地磁気はやや活発な状態となりました。この地磁気の乱れは、コロナホール(図4)の影響と思われるかもしれませんが、7月11日に規模の小さなコロナ質量放出(CME)も発生しており、その影響が多量に放出されたコロナ質量放出(CME)も発生している筋が2本見えています。図2のようフレアは、「two ribbonフレア」と呼ばれています。

電離圏

この2カ月の電離圏は概ね静穏な状態でした。図6に示したように日本の中南部では、ほとんど毎日のようにスポラディックE層が発生しています。9月を過ぎると徐々にスポラディックE層の発生頻度は低くなっていきます。

より詳細な宇宙天気概況は、(独)情報通信研究機構が提供する週刊宇宙天気ニュース(http://www.seg.nict.go.jp/wws/)をご覧ください。